

開館30年記念誌

松浦武四郎記念館

30年のあゆみ



開館当時の松浦武四郎記念館

三重県松阪市 松浦武四郎記念館

ごあいさつ

平成6年（1994）7月3日に開館した松浦武四郎記念館は、令和6年（2024）7月3日で開館から30年を迎えることができました。これも偏に、松浦家をはじめ、多くの皆様方の格別のご支援と格段のご指導があってこそのことであり、まずは衷心より厚く御礼申し上げます。

私は9代目の館長となりますが、平成13年（2001）に2代目の学芸員として三雲町に採用され、鈴木恒雄初代館長（故人）と2ヶ月だけお仕事を共にさせていただきました。その頃に鈴木先生から「この記念館は小さな博物館だけれども、小さいながらもどこか光を放つ博物館であってほしい。」という言葉をかけていただいたことは、今も忘れることができません。

開館から30年の歩みの中で、さまざまな出来事がありました。平成20年（2008）には、4代目の高瀬英雄館長と市民のみなさんとの協働で生誕190年、没後120年、6回目の北海道の調査から150年の記念事業を行ったことや、平成30年（2018）には北海道150年事業と連携して生誕200年記念事業を行い、同年に松浦武四郎誕生地を保存整備・公開できたこと、令和3年（2021）に小野江公民館が開館し、記念館のリニューアル工事を行い、令和4年（2022）にリニューアルオープンできたことなど、振り返れば数々の思い出があふれています。

開館30年を迎え、記念館は松浦武四郎に関する日本で唯一の博物館として、これからも小さいながらも光を放つことができるよう、武四郎の知名度アップに取り組み、教育や文化だけでなく、地域づくりや観光誘客、産業の振興などでも貢献できるよう努めてまいります。

平成17年（2005）1月1日に1市4町の合併により三雲町が松阪市となり、令和7年（2005）1月1日で市制20周年を迎えました。この30年のあいだに様々な機関、団体、数多くの方々のご支援・ご協力を賜わってきました。この機会に御礼申し上げますとともに、みなさまには引き続き、ご指導とご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

松浦武四郎記念館

館長 山 本 命

目 次

ごあいさつ	1
1. 30年間の主な出来事	3
2. 開館から30年の歩み	5
3. 入館者数の推移	18
4. 展示	19
5. 寄贈資料・寄託資料・寄贈図書	23
6. レプリカ作製	25
7. コスモス文化振興基金	26
8. 資料貸出	27
9. 資料の利用と団体見学・外部への講師派遣	28
10. 武四郎講座・講演会・トークイベント	29
11. 体験ワークショップ	38
12. 研究ワークショップ「武四郎に学ぶ会」	39
13. 博物館実習の受け入れ	40
14. 松阪市松浦武四郎記念館運営審議会	41
15. 松阪市松浦武四郎誕生地整備検討委員会	41
16. オリジナルグッズ	42
17. 刊行物	43
18. 松浦武四郎誕生地の保存整備	48
19. 松浦武四郎誕生地イベント（令和3年度のみ実施）	49
20. 新型コロナウイルス感染症対策	50
21. リニューアル	51
22. 松浦武四郎記念館開館30年記念トークイベント	55
23. 松浦武四郎記念館歴代職員（小野江コミュニティセンター期を含む）	58
24. 松浦武四郎生誕200年記念事業	59

1 30年間の主な出来事

①生誕190年等記念事業：平成20年（2008）2月～平成21年（2009）2月

松浦武四郎の生誕190年、没後120年、6回目の北海道調査から150年を記念して実施。平成17年（2005）に合併して松阪市となったが武四郎の知名度は低く、10年後の生誕200年に向けて、市民による実行委員会を作り、知名度アップに取り組んだ。

詳細はこちら→



②松浦武四郎関係資料が重要文化財に指定：平成20年（2008）7月10日

武四郎直系の子孫にあたる松浦家（東京）と、武四郎の実家にあたる松浦家（松阪）で大切に保管されてきた1,503点の資料が、一括して重要文化財に指定される。

※その後蝦夷屏風の修理で両面貼りを分離したことで、平成28年8月17日に1,505点に変更。

③博物館法に基づく博物館登録を受ける：平成22年（2010）7月20日

博物館法上の博物館としての要件を満たしているとして三重県の博物館登録原簿に登録される（三重県第19号）。その後、令和4年（2022）に改正された博物館法の新たな登録制度に基づき、令和6年（2024）1月15日に三重県第1号として登録される。

④開館20年記念式典：平成26年（2014）7月6日

開館20年記念誌『松浦武四郎記念館 20年のあゆみ』を発刊、小野江小学校体育館で記念式典を開催したほか、関屋敏隆氏の武四郎絵本の原画を展示した企画展、「武四郎涅槃図」に関連する資料を静嘉堂文庫から借用した特別展、松浦武四郎研究家の佐藤貞夫さんの講演会、記念講座などを実施した。

⑤武四郎まつりの報告書を発刊：平成27年（2015）9月30日

平成8年（1996）2月を皮切りに毎年武四郎の生没月である2月に開催してきた武四郎まつりが平成27年（2015）2月で第20回を迎えた。そのため、第1回から第20回までを取りまとめた『武四郎まつり 20年の歩み—魅力あふれるふるさとづくりをめざして』を発刊した。武四郎まつりは今春で第30回を迎える。

⑥生誕200年記念事業：平成30年（2018）2月～平成31年（2019）2月

詳細は本誌59頁以降に掲載。「武四郎の道は未来へとつづく」をキャッチコピーに、北海道150年事業とも連携して実施した。

⑦松阪市指定史跡「松浦武四郎誕生地」の開館：平成30年（2018）2月25日

平成19年（2007）に整備検討委員会が開かれて以来10年以上かけて検討を重ねてきたが、生誕200年を迎える平成30年2月に間に合うよう保存整備をすすめ、第23回武四郎まつりと同日に開館。以降は地域住民を主体とする松浦武四郎誕生地保存会が管理している。

⑧ドラマ「永遠のニッパ 北海道と名付けた男 松浦武四郎」放送：令和元年（2019）7月15日

NHKが北海道150年記念ドラマとして制作。武四郎役をアイドル・俳優の松本潤さん、ヒロインのアイヌの女性役を俳優の深田恭子さんが演じた。脚本は大石静さん、語りはシンガーソングライターの中島みゆきさん。同日、大石静さんを松阪市にお招きして放送記念講演会を開催。

⑨松阪市小野江公民館の開館：令和3年（2021）4月1日

当初は「小野江地区コミュニティセンター」として記念館と公民館が併設。合併で松阪市になり「小野江コミュニティセンター」に改称。記念館との併設で活動に制限が多く、単独公民館を望む声が高まったことで、記念館北側に新築・開館した。

⑩松浦武四郎記念館のリニューアルオープン：令和4年（2022）4月24日

博物館単独の施設となり、リニューアル工事を行って博物館機能を強化。記念式典の後、武四郎の玄孫にあたるピアニスト関孝弘さんのピアノリサイタルを開催した。

次頁から30年間のあゆみを列挙しますが、開館にいたる経緯及び開館から20年（平成26年〔2014〕）までの詳細は『開館20年記念誌 松浦武四郎記念館 20年のあゆみ』を参照ください。

詳細はこちら→



2 開館から30年の歩み

※展示会・資料貸出・体験ワークショップ・講座・松浦武四郎生誕200年記念事業等については後ろのページでそれぞれ詳述。

■ 平成6年（1994）

- 7月3日 松浦武四郎記念館開館。竣工記念式典を小野江小学校体育館で開催。田川亮三三重県知事、横路孝弘北海道知事、野村義一北海道ウタリ協会理事長が出席。
開館当初の入館料は、一般300円、一般団体200円、小中高生200円、小中高生団体100円。
- 8月3日 アイヌ民族から初の国会議員となった萱野茂さんが来館。
- 12月1日 記念館だより第1号を発行。以降、平成17年12月まで毎月1回発行。

■ 平成7年（1995）

- 3月26日 入館者1万人達成。1万人目の入館者となった津市からの来館者に記念品贈呈。
- 7月1日 小野江小学校児童による「松浦武四郎記念館を守り隊」の16人が武四郎の幼名「竹四郎」にちなみ記念館のホールに竹の七夕の飾り付けを施す。
- 7月23日 開館1周年記念講演会「三雲町と武四郎記念館」（講師：東京国立博物館 佐々木利和さん）。当日は無料開館。
- 11月10日 三重県博物館協会が主催して久居市（現津市）のサンライフ久居で開催される移動博物館に出品（～11月12日）。

■ 平成8年（1996）

- 2月25日 第1回武四郎まつりを開催。講演会「蝦夷地と松浦武四郎」（講師：松浦武四郎研究会 会長 秋葉實さん）。清酒メーカーの油正が武四郎にちなんだ日本酒を販売、原料に一志米を使い、ラベルに武四郎が著した『蝦夷漫画』に描かれたアイヌの男性をデザイン。
- 4月 三雲町が平成8年度版町民カレンダーに武四郎の生涯を漫画にして町内全戸、約3千世帯に配布。
- 8月7日 三雲町が北海道地域間交流事業として、町内の小学5・6年生55名を北海道へ派遣。4泊5日の日程で道内の武四郎ゆかりの足跡を訪ね、平成7年に武四郎の記念碑が建てられた長沼町・小平町の子どもたちと交流。

■ 平成9年（1997）

- 2月23日 第2回武四郎まつりを開催。アイヌ民族博物館伝統舞踊保存会（北海道白老町）がアイヌ古式舞踊を披露。講演会「北辺の先覚者松浦武四郎」（講師：松浦武四郎研究者 谷澤尚一さん）。
- 9月20日 北海道士別市で北海道上川支庁の主催による「松浦武四郎フォーラム」が開催され、鈴木恒

雄館長がパネリストとして出席。

■ 平成10年（1998）

- 3月21日** 第3回武四郎まつりを開催。会場は記念館ではなく、ハートフルみくもとし、武四郎のパネルを展示したほか、会場から記念館まではシャトルバスを運行。講演会「アイヌの歴史と文化」（講師：千歳アイヌ文化伝承保存会 会長 中本ムツ子さん）。
- 4月12日** 松浦武四郎研究会（北海道）との研究交流会を記念館で開催。北海道の武四郎研究者と地元
の武四郎研究者が初めて交流。

■ 平成11年（1999）

- 2月28日** 第4回武四郎まつり開催。アイヌ古式舞踊を帯広カムイトウウポポ保存会が披露。まつり開催に先立ち、武四郎まつりマスコットキャラクターのデザインを公募し、三雲町立鵲小学校
6年生の前田美穂さんの作品が最優秀賞に選ばれ、まつり当日に「たけちゃん」が誕生。

■ 平成12年（2000）

- 2月27日** 第5回武四郎まつりを開催。加納オキさんによるアイヌ民族楽器「トンコリ」演奏とアイヌ古式舞踊の披露。

■ 平成13年（2001）

- 2月25日** 第6回武四郎まつり開催。アイヌ民族博物館伝統舞踊保存会（北海道白老町）がアイヌ古式舞踊を披露。
- 8月3日** 三重県博物館協会の移動博物館で「武四郎と大台ヶ原」について展示（～8月5日、会場：伊勢市生涯学習センターいせトピア）

■ 平成14年（2002）

- 2月24日** 第7回武四郎まつり開催。平取アイヌ文化保存会がアイヌ古式舞踊を披露。
- 6月** 広報みくも6月号から「武四郎が行く！」と題して連載開始、平成16年12月号まで継続。

■ 平成15年（2003）

- 2月23日** 第8回武四郎まつりを開催。帯広カムイトウウポポ保存会がアイヌ古式舞踊を披露。講演会「武四郎の蝦夷地地図」（講師：北海道の古地図研究者 高木崇世芝さん）
- 11月1日** 松阪大学で開催された松阪シンポジウム「江戸時代伊勢地域における科学技術」で「松浦武四郎の描いた蝦夷地地図」と題して山本命学芸員が講演。

この年から、平成12年に東京松浦家から寄託があった武四郎関係資料の資料調査がスタート。平成16年度まで2カ年の計画で、国庫補助事業として実施。

■ 平成16年 (2004)

- 2月29日 第9回武四郎まつりを開催。阿寒アイヌ民族文化保存会がアイヌ古式舞踊を披露。講演会「松浦武四郎のころ」（講師：松浦武四郎研究会 会長 秋葉實さん）。
- 5月16日 北海道開拓記念館で開催された松浦武四郎研究会の研究発表会で山本命学芸員が講演。
- 6月12日 文部科学省特定領域研究「江戸のモノづくり」の第4回国際シンポジウムが三重大学で開かれ、パネルディスカッションに山本命学芸員が出席。
- 12月15日 東京松浦家の松浦一雄さんから武四郎関係資料305点と松浦孫太・武彦関係資料189点を寄贈してもらい、記念館において寄贈式開催。
- 12月 平成15年（2003）から国庫補助事業により行ってきた武四郎関係資料の調査が完了し、『松浦武四郎関係歴史資料目録2』を出版。
- 12月 平成17年（2005）1月から合併して「松阪市」となるため、記念館だよりの三雲町内全戸配布は121号で終了。

■ 平成17年 (2005)

- 1月1日 三雲町が松阪市・嬉野町・飯南町・飯高町と合併し「松阪市」となる。
- 2月27日 第10回武四郎まつり開催。白老民族芸能保存会がアイヌ古式舞踊を披露。
- 7月10日 新たに松阪市民になった人々に武四郎を知ってもらうため武四郎入門講座を開き、以後毎月1回第2日曜日に開催することとする。
- 10月18日 東京松浦家の松浦一雄さんから国文学研究資料館へ寄託されていた武四郎関係資料216点を受贈、記念館において寄贈式開催。
- 10月24日 武四郎を読む会が滋賀県大津市の三井寺にある武四郎の鍋塚を訪問。

■ 平成18年 (2006)

- 2月11日 武四郎の命日2月10日に合わせて武四郎忌俳句会開催。
- 2月26日 第11回武四郎まつりを開催。雨天のため松阪市立小野江小学校体育館にステージを移す。弟子屈町屈斜路古丹アイヌ文化保存会が古式舞踊を披露。松浦武四郎の子孫とかつて武四郎に屈斜路湖を案内したアイヌの男性イソリツカラの子孫が会う。
- 3月17日 三重県は県指定有形文化財（歴史資料）松浦武四郎関係資料305点に対し東京松浦家から寄贈された資料から539点を追加指定し、合わせて844点が県指定有形文化財となる。
- 6月6日 ホールの床面に武四郎が出版した北海道地図『東西蝦夷山川地理取調図』の原寸大フロアサインが登場。
- 6月19日 臨時で運営審議会を開催、松阪市指定史跡松浦武四郎誕生地（武四郎の実家）の保存と活用について協議。

■ 平成19年 (2007)

- 2月25日 第12回武四郎まつりを開催。白糠アイヌ文化保存会がアイヌ古式舞踊を披露。

5月16日 北海道新聞が進める北海道千本桜運動でエゾヤマザクラの苗木3本を送ってもらい記念館北側の市有地へ植樹。

5月30日 松浦武四郎生誕190年等記念事業実行委員会の初会合開催。

この年から、北海道開拓記念館が中心となって武四郎の資料を全国的に調査・研究する「近世後期から近代初期に形成された知識人ネットワークに関する基礎研究」がスタートし、松浦武四郎記念館も協力して平成22年度まで行われる。

■ 平成20年（2008）

2月23日 松浦武四郎生誕190年等記念事業オープニングイベントを松阪市民文化会館で開催。松阪市制3周年記念式典に続いて開催。

2月24日 第13回武四郎まつり開催。鶴川アイヌ無形文化伝承保存会がアイヌ古式舞踊を披露。

3月23日 松阪市産業振興センターにおいて松浦武四郎生誕190年等記念事業記念シンポジウム「松浦武四郎とアイヌ民族」開催。

5月11日 松浦武四郎記念館友の会の設立総会開催。

7月10日 平成20年（2008）3月21日に開かれた文化審議会で答申のあった松浦武四郎関係資料の重要文化財指定が、文部科学省告示第115号（7月10日付官報掲載）によって、1,503点が重要文化財（歴史資料）の指定を受ける。

10月15日 武四郎の足跡を訪ねてin北海道が実施され、3泊4日の行程で阿寒湖、屈斜路湖、摩周湖めぐり武四郎の足跡を巡ったほか、アイヌ民族の皆さんと交流。

10月29日 武四郎の足跡を訪ねてin大台ヶ原が実施され、佐藤貞夫さんの案内で大台ヶ原の武四郎の足跡を訪ねる。

■ 平成21年（2009）

2月11日 松浦武四郎生誕190年等記念事業の締めくくりとして松浦武四郎研究成果速報会「武四郎研究の最前線」を松阪市産業振興センターで開催。

2月22日 第14回武四郎まつり開催。静内民族文化保存会を招待する予定であったのが、新千歳空港周辺が豪雪により飛行機が欠航となり、まつり前日に急きょ関東で活躍するアイヌレブルズのみなさんに依頼してアイヌ古式舞踊を披露してもらう。

9月13日 北小野江自治会、南小野江自治会、松浦武四郎記念館友の会が中心となり、松浦武四郎誕生地保存会が設立される。

10月23日 たけちゃんが「ゆるキャラまつりin彦根 キグるミさみっと2009」に出場し武四郎と武四郎まつりをPRする（～25日）。

■ 平成22年（2010）

2月28日 第15回武四郎まつりを開催。アイヌ古式舞踊を札幌ウポポ保存会（札幌市）が披露。チリ沖

で発生した大地震により伊勢湾に津波が到達する恐れがあるため午後のイベントを中止。

- 4月3日 松浦武四郎誕生地保存会主催の、誕生地の裏にある金田一京助が植樹した桜の花見会開催。
- 4月12日 平成30年松浦武四郎生誕200年への会が街道ウォークを行い、奈良県宇陀市榛原区の伊勢本街道を歩いて嘉永6年の武四郎の足跡をたどり、上田口で武四郎が宿泊した布袋屋跡に記念碑が建てられる。
- 5月12日 武四郎を読む会の主催で、武四郎が神鏡を奉納した京都の長岡天満宮と大阪府高槻市の上宮天満宮をめぐるバスツアーが行われる。
- 6月5日 INAXギャラリー大阪で企画展「幕末の探検家・松浦武四郎と一畳敷」開催（～8月17日）。9月3日からINAXギャラリー名古屋（～11月18日）、12月2日からINAXギャラリー東京（～2月19日）へも巡回。
- 6月25日 大阪市立芸術創造館で武四郎を主人公にした演劇「アイヌモシリ」上演（～27日）。
- 7月6日 博物館法第10条で規定された博物館（登録博物館）として三重県が松浦武四郎記念館を登録。
- 10月23日 たけちゃんが「ゆるキャラまつりin彦根 キグるミさみっと2010」に出場し武四郎をPR（～24日）
- 11月23日 平成30年松浦武四郎生誕200年への会主催の街道ウォーク第2弾が行われ、津市美杉町の伊勢本街道歩き、地元の皆さんと交流。

■ 平成23年（2011）

- 1月7日 （財）アイヌ文化振興・研究推進機構が主催するアイヌ文化普及啓発セミナーin松阪が松阪市産業振興センターで行われ、弓野恵子さん、山丸郁夫さん、千葉伸彦さんが講演。
- 2月24日 株式会社INAXに依頼し武四郎の書斎「一畳敷」の復元セット受贈。
- 2月27日 第16回武四郎まつり開催。静内民族文化保存会がアイヌ古式舞踊を披露。
- 4月2日 松浦武四郎誕生地保存会が主催して、金田一京助博士が植樹した桜のお花見会開催。
- 4月10日 昨年に続いて平成30年松浦武四郎生誕200年への会が主催して、嘉永6年の武四郎の足跡を訪ねる伊勢本街道ウォークが行われる。
- 7月21日 北海道で天塩川学セミナーが開かれ、高瀬英雄名誉館長が講演。山中光茂松阪市長と宮本正道館長も出席し、天塩川流域の市町村長と交流。その後、松阪夢交流事業により松阪市立小野江小学校・松阪市立三雲中学校が交流している弟子屈町を訪問。
- 10月16日 松阪市の菓子店1010番地が「武四郎バーム」発売開始。

この年、國學院大学研究開発推進機構の内川隆志准教授を研究代表とする科学研究費「人文資料形成史の研究―静嘉堂文庫所蔵の松浦武四郎旧蔵資料の研究と公開」の調査・研究に協力。

■ 平成24年（2012）

- 2月26日 第17回武四郎まつり開催。チームニカオプがアイヌ古式舞踊を披露。
- 5月15日 三重松浦家旧蔵の刀剣類5点を三重県教育委員会に登録。

- 5月16日 北海道の弟子屈郵便局と弟子屈町公民館で武四郎のパネル展開催。
- 6月1日 アメリカのコロンビア大学ヘンリー・スミス教授が武四郎涅槃図調査。
- 6月26日 平成30年松浦武四郎生誕200年への会が企画して、3泊4日の行程で札幌、帯広、富良野を巡り、武四郎の足跡を訪ねる。
- 7月8日 松浦武四郎誕生地の市史跡指定50年記念「史跡松浦武四郎誕生地の活用と整備を考える」シンポジウムを松阪市産業振興センターで開催。
- 9月16日 松浦武四郎誕生地シンポジウムの第2弾として「史跡松浦武四郎誕生地の活用に向けた意見交換会」を小野江小学校体育館で開催。

■ 平成25年（2013）

- 1月9日 小野江小学校6年生が卒業制作として、武四郎の和歌と和歌からイメージしたイラストを添えた冊子『旅衣』が完成。
- 2月24日 第18回武四郎まつりを開催。「アンコラチ メノコ ウタラ」（ありのままの私たち）が古式舞踊を披露。
- 6月18日 重要文化財指定資料のうち、蝦夷屏風の保存修理について滋賀県大津市の坂田墨珠堂へ委託し2年をかけて行う（平成27年3月完了予定）。
- 10月7日 平成30年松浦武四郎生誕200年への会が企画して、北海道宗谷岬と天塩川流域の武四郎の足跡を訪ねるツアーが3泊4日の行程で開催。

■ 平成26年（2014）

- 2月7日 津市の石水博物館で企画展「松浦武四郎と川喜田石水―幕末知識人のネットワーク」が開催される（～4月6日）。東京・日本橋の三重テラスで「武四郎な3日間」が開催される。
- 2月23日 第19回武四郎まつり開催。様似民族文化保存会がアイヌ古式舞踊披露。
- 3月 松阪市郷土の偉人に学ぶ教育推進委員会の制作した武四郎の副読本が完成。4月から松阪市内の小学校に通う5年生全児童に配布。
北海道白老町役場とアイヌ民族博物館から野本館長ほか4名が来館。
- 4月1日 開館して初の入館料改定。一般310円とし、ほかは据え置き。
- 7月3日 開館から20年を迎える。
- 7月6日 松阪市立小野江小学校体育館で開館20年記念式典を行う。
松浦武四郎記念館友の会が三重県内では初めてとなる武四郎の歌碑を記念館の敷地に建立、除幕式開催。

■ 平成27年（2015）

- 2月1日 松阪市合併10周年記念シンポジウム「先人に学べ！松阪の偉人たちの志と工夫」において偉人のひとりとして松浦武四郎が紹介される同シンポジウムにおいて結果発表されたアンケート「あなたの松阪自慢」歴史上の人物の部門で、本居宣長、蒲生氏郷に続いて第3位にラン

クイン。

- 2月22日 第20回武四郎まつり開催。白糠アイヌ文化保存会がアイヌ古式舞踊を披露。市民団体光れ街道・夢おこしの会が北海道白老町の彫刻家山田祐治さんに制作を依頼した松浦武四郎の胸像が完成し、記念館受贈。
- 4月19日 国指定重要文化財松浦武四郎関係資料のうちの「蝦夷屏風」の下地として使用されていた古文書計3,288点の解説開始。
- 6月24日 NHK総合「歴史秘話ヒストリア」で松浦武四郎が紹介される。再現VTRで松浦武四郎役として俳優の野間口徹さんが出演。

■ 平成28年 (2016)

- 8月2日 NHK教育テレビ「先人たちの底力 ^{ちえいず} 知恵泉」で武四郎紹介。
- 9月7日 松阪市教育委員会が松阪3偉人（宣長・武四郎・氏郷）についてまとめた小学校用副読本の一般販売開始。
- 11月18日 札幌市中央区のセンチュリーロイヤルホテルで武四郎の功績を紹介するパネル展が開幕。11月20日まで。
- 12月 2年後に控えた武四郎生誕200年に向けて、武四郎あて年賀状の募集を初めて企画・発表。

■ 平成29年 (2017)

- 1月16日 高橋はるみ北海道知事はじめ北海道150年事業実行委員会のメンバーが記念館と保存整備中の誕生地を視察。
- 2月26日 第22回武四郎まつり開催。帯広カムイトウウポポ保存会がアイヌ古式舞踊を披露。
- 3月23日 北海道命名150年の節目の年にちなみ松浦武四郎が「蝦夷地」を「北海道」に改名するよう提案した7月17日を「北海道みんなの日」とする条例を北海道議会が全会一致で可決。
- 3月 保存整備中の松浦武四郎誕生地において主屋の基礎工事中に床下から陶器製の土瓶（えな壺か）が発見される。
- 5月30日 松阪市が松浦武四郎の功績を全国へ発信する記念事業を向こう1年間実施することを発表。
- 6月3日 松浦武四郎誕生地において修理中の建物の現場説明会開催。
- 6月24日 松阪市が北海道札幌市の商業施設内で松浦武四郎生誕200年記念事業のPR活動実施。翌25日まで。
- 7月17日 北海道みんなの日にちなんで松浦武四郎記念館と松浦武四郎誕生地が無料開館。
- 7月18日 鈴木英敬三重県知事と村岡嗣政山口県知事が知事懇談会に先立つ現地視察の一環で来館。
- 9月14日 NHKBSプレミアムの番組「英雄たちの選択」で武四郎が紹介される。ナレーションは俳優の松重豊さん。
- 9月24日 劇団松阪ドラマシティが松阪市立花岡公民館で番外公演「郷土の偉人松浦武四郎」開催。
- 11月11日 翌年に控えた松浦武四郎生誕200年にあわせて松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会が記念ステッカー作成。

■ **平成30年（2018）** ※松浦武四郎生誕200年記念事業については別記参照。

- 1月12日** 松阪北部商工会新春賀詞交歓会の新春講演会において北海道博物館の三浦泰之学芸主幹が「松阪と北海道を繋ぐ松浦武四郎の人物像と功績」と題して講演、のち三浦さんと山本命主任学芸員が対談。
- 1月18日** 松浦武四郎と松阪木綿の縁により「アイヌ伝統工芸品展in松阪」が松阪市文化財センターの第3ギャラリーで開催。同21日まで。
- 2月24日** 松阪の駅弁店新竹商店が松浦武四郎の肖像写真と足跡の記録をあしらった「元祖特撰牛肉弁当」発売。武四郎の好物であった煎り大豆付き。
- 同日** 松浦武四郎の生誕200年を記念するオープニングイベントが農業屋コミュニティ文化センターで開催。静内民族文化保存会のアイヌ古式舞踊や、アイヌ文化伝承アドバイザー宇梶静江さんと息子で俳優の宇梶剛士さんをゲストにトークセッション開催。
- 2月25日** 第23回武四郎まつり開催。松浦武四郎誕生地の一般公開開始。プロ野球球団日本ハムファイターズから北海道庁職員を通して「TAKESHIRO」と「200」の背番号が入ったユニホームを受贈。誕生地の開館当初の入館料について、一般100円、一般団体80円。ほか記念館と誕生地の共通券として共通一般350円、共通一般団体250円を販売開始。
- 3月1日** 山本命主任学芸員が著した『幕末の探検家 松浦武四郎入門』が風媒社から出版。
- 3月10日** 北海道滝上町にある滝上町文化センターにおいて、しょこつがわ連絡協議会主催「松浦武四郎とアイヌ文化フォーラム」開催。講師は松浦武四郎記念館元館長の高瀬英雄さん。
- 3月18日** 東京都日本橋にある三重県アンテナショップの三重テラスで松阪市主催の松浦武四郎の生誕200年を記念したセミナー開催。山本命主任学芸員とクラブツーリズム株式会社テーマ旅行部顧問の黒田尚嗣さんが対談。
- 3月21日** 北海道函館市内のデパートで開催された「三重・和歌山・愛知物産展」において松浦武四郎記念館職員などが武四郎と松阪のPR活動を展開。同22日まで。
- 4月11日** 作家の河治和香さんが執筆する、武四郎を紹介する新聞「週刊武四郎」を松阪市が発行開始（松阪市と北海道電力の共同企画）。翌年3月まで。
- 4月24日** アイヌ語地名懇親会の研究発表会が松浦武四郎記念館で開催。
- 6月8日** 作家の河治和香さん執筆の小説『がいなもん 松浦武四郎一代』が小学館から発売開始。
- 6月17日** 東京都台東区の老舗「駒形どぜう」6代目店主の渡辺孝之さん（越後屋助七）が松浦武四郎誕生地においてそば打ちの実演と振る舞いを実施（松浦武四郎誕生地保存会企画）。合わせて作家河治和香さんから、自身が執筆した小説『がいなもん 松浦武四郎一代』を松阪市に寄贈。
- 6月24日** 嬉野ふると会館において嬉野コールジョイ主催の創作オペレッタ「松浦武四郎ものがたり」上演。
- 6月30日** 北海道博物館において特別展「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎一見る、集める、伝える」開幕。8月26日まで。
- 7月10日** NPO法人三重県自然環境保全センターが松浦武四郎の生誕200年をPRするためのデザイン

- を施した羊羹（井村屋株式会社製のミニ羊羹）発売開始。
- 7月20日** 松阪市北部商工会の嬉野支所で開催された参画事業者会議において、松阪市中林町の喫茶店
もうちの木が商品開発した松浦武四郎弁当試食。
- 7月25日** 鈴木英敬三重県知事が北海道庁を訪れて高橋はるみ知事と記者会見し、松浦武四郎の生誕
200年と北海道命名150年を記念した観光PRでの連携表明。
- 8月19日** 公益社団法人松阪法人会主催「第9回夏休み親子租税教室」がクラギ文化ホールにおいて開
催、途中クイズ大会において武四郎まつりマスコットキャラクターのたけちゃんを含めたゆ
るキャラが登場。
- 8月21日** 松阪市教育委員会主催「松阪英語キャンプ」が松浦武四郎記念館において開催。市内の中学
生が松浦武四郎についての展示を英語で発表。
- 9月1日** 秋田県を拠点に活動する劇団わらび座がミュージカル「松浦武四郎ーカイ・大地との約束ー」
をクラギ文化ホールにおいて上演。
- 9月9日** 松浦武四郎生誕200年&松浦武四郎誕生地リニューアルオープン記念「武四郎さんちのくは
なれのお座敷>トークイベント」の第1弾を松浦武四郎誕生地において開催（松阪市と松浦
武四郎生誕200年記念事業実行委員会の共催）。ゲストは映画監督の村川透さん、聞き手は作
家の河治和香さん。
- 9月15日** 三重県総合博物館において企画展「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎ー見る、集める、
伝える」開幕。11月11日まで。
- 9月22日** 市民団体光れ街道・夢おこしの会と松浦武四郎誕生地保存会が松浦武四郎誕生地において月
見の会開催。
- 9月29日** 津市にある三重県総合文化センターにおいて研究成果報告会「松浦武四郎研究の最前線
2018」開催。山本命主任学芸員登壇。
- 10月6日** 東京都三鷹市にある国際基督教大学において松浦武四郎の一畳敷をテーマにしたシンポジウ
ム開催。山本命主任学芸員登壇。
- 10月13日** 松浦武四郎生誕200年記念フォーラムがクラギ文化ホールにおいて開催。山本命主任学芸員
登壇。
- 10月14日** 三重県総合博物館において松浦武四郎記念館元館長の高瀬英雄さん講演。
- 10月27日** 松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会主催の「まちをあそぶ〜武四郎さんを探せ」が松
阪市小野江町の旧伊勢街道において開催（松阪子どもNPOセンター企画）。翌28日まで。
- 同日** 松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会主催で三重県立松阪工業高等学校繊維デザイン科
の生徒によって制作された紙芝居「松浦武四郎」が三重県総合博物館において展示。翌月11
日まで。
- 11月1日** NPO法人北海道遺産協議会が「松浦武四郎による蝦夷地調査の足跡」を北海道遺産に選定。
- 11月11日** 松浦武四郎生誕200年&松浦武四郎誕生地リニューアルオープン記念「武四郎さんちのくは
なれのお座敷>トークイベントの第2弾」を松浦武四郎誕生地において開催（松阪市と松浦
武四郎生誕200年記念事業実行委員会の共催）。ゲストは札幌大学教授の本田優子さん。

- 11月17日 日本樹木医会燦樹会が記念館裏の広場に植えられたエゾヤマザクラ（正式名称オオヤマザクラ）の樹勢回復と維持管理に関する勉強会実施。
- 12月9日 松浦武四郎生誕200年&松浦武四郎誕生地リニューアルオープン記念「武四郎さんちのくはなれのお座敷>トークイベント」第3弾を松浦武四郎誕生地において開催（松阪市と松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会共催）。ゲストは元板橋区立美術館館長・萬美術屋の安村敏信さん。

■ 平成31年（2019）

- 1月13日 松浦武四郎生誕200年&松浦武四郎誕生地リニューアルオープン記念「武四郎さんちのくはなれのお座敷>トークイベント」第4弾を松浦武四郎誕生地において開催（松阪市と松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会の共催）。ゲストは基角堂・江戸古物蒐集家の平野英夫さん。
- 2月 長崎県平戸市の妙心寺派千光禅寺が松浦武四郎生誕200年にあわせて武四郎に臨済宗最上位の戒名「院殿号」追贈。
- 2月24日 第24回武四郎まつり開催。

■ 令和元年（2019）

- 6月7日 松浦武四郎の紙芝居を制作した紙芝居師の三橋とらさんが松浦武四郎記念館で紙芝居を披露。
- 7月12日 NHK北海道150年記念ドラマ「永遠のニッパ〜北海道と名付けた男松浦武四郎〜」の撮影風景などを紹介するパネル展開幕。同14日まで。
- 7月15日 松浦武四郎記念館においてNHK北海道150年記念ドラマ「永遠のニッパ」の脚本家大石静さんの講演会開催。
- 同日 NHK北海道150年記念ドラマ「永遠のニッパ」全国放送。主演はアイドル・俳優の松本潤さんと女優の深田恭子さん、語りはシンガーソングライターの中島みゆきさん。
- 9月30日 令和元年5月施行のアイヌ施策推進法に基づく初めての交付金を、松阪市を含む全国13市町に交付することを政府が発表。北海道以外の自治体で唯一、松阪市が交付対象に選定。
- 10月1日 入館料改定。共通一般360円、共通一般団体260円。記念館は小中高生団体110円とし、ほかは据え置き。誕生地は一般110円とし、一般団体は据え置き。
- 10月29日 国際基督教大学において松浦武四郎の生涯を紹介する講演会を開催。講師は竹上真人松阪市長と山本命主任学芸員。
- 11月27日 松阪市と札幌大学・札幌大学女子短期大学部が松浦武四郎やアイヌ文化に関する取り組みの交流・連携協定締結。
- 同日 札幌大学において講演会開催。講師は竹上真人松阪市長と山本命主任学芸員。

■ 令和2年（2020）

- 2月18日 東京松浦家の松浦一雄さんが松阪市から市政特別協力者として表彰。

- 同日 高瀬英雄元館長が松阪市から市政功労者（教育文化功労）として表彰。
- 2月22日 松浦武四郎記念館において三重県と北海道が松浦武四郎をはじめとした交流連携に関する合意締結。
- 2月23日 第25回武四郎まつり開催。旭川チカプニ・アイヌ民族文化保存会がムックリ演奏やアイヌ古式舞踊披露。
- 4月15日 新型コロナウイルス感染症対策のため松浦武四郎記念館を含めた松阪市内の文化観光施設が東京都など7都府県からの来館の自粛を促す対応開始。
- 4月20日 松浦武四郎記念館・誕生地を含む松阪市内の8つの文化施設が新型コロナウイルスの感染症対策のため休館に入る。同年5月6日まで。
- 9月 松浦武四郎誕生地保存会が松浦武四郎誕生地において周辺の武四郎ゆかりの場所を紹介するマップ『松浦武四郎誕生地界隈』の配布開始。
- 10月1日 松阪市が来年2月28日に予定していた第26回武四郎まつりの中止を発表。新型コロナウイルス感染症対策のため。
- 11月10日 松阪市が令和4年度にリニューアルオープン予定の松浦武四郎記念館の基本設計公表。

令和3年（2021）

- 2月16日 第26回武四郎まつりで披露する予定であった松阪市立小野江小学校6年生による武四郎劇などを松阪市行政チャンネルで放映開始。同22日まで。
- 2月28日 当初予定していた第26回武四郎まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になったが松浦武四郎記念館および誕生地は例年通り無料開館。
- 4月1日 小野江コミュニティセンターとして同居していた小野江公民館が移転。小野江公民館と松浦武四郎記念館がそれぞれ単独化。
- 4月 松浦武四郎記念館の正面玄関右側のツゲの植え込みで作った北海道図を白色の丸石を敷き詰めた形式に置き換える。
- 5月10日 松浦武四郎記念館リニューアル工事に伴う休館期間開始。令和4年（2022）4月23日まで。
- 7月13日 高知県立坂本龍馬記念館の吉村大館長と高山嘉明学芸員が竹上真人松阪市長を表敬訪問し、同記念館の開館30周年特別展「龍馬と北の大地」への松浦武四郎の資料貸出などについて協力依頼。快諾。
- 8月17日 北海道みんなの日にあわせて松浦武四郎記念館誕生地を無料開館。松浦武四郎記念館はリニューアル工事のため休館中。
- 9月1日 新聞『夕刊三重』紙上において、武四郎まつりマスコットキャラクターである「たけちゃん」を主人公とした4コマ漫画「お〜い、たけちゃん！」の連載開始。漫画の作者はいしかわけいち（ペンネーム）さん、解説は山本命主任学芸員。

令和4年（2022）

- 2月27日 当初予定していた第27回武四郎まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため昨年に続

- き中止になったが、松浦武四郎記念館および誕生地は例年通り無料開館。
- 4月24日** 松浦武四郎記念館リニューアルオープン。一般公開に先立ち記念式典開催。入館料改定。共通一般410円、共通一般団体290円。記念館一般360円、一般団体230円、小中高生230円、小中高生団体120円。誕生地は一般・一般団体ともに据え置き。
- 同日** 農業屋コミュニティ文化センターにおいて「世界的ピアニスト 松浦武四郎の子孫 関孝弘 ピアノリサイタル」開催。
- 5月9日** 松浦武四郎の顕彰活動などに取り組む団体である松阪をたのしむ同人会が松阪市飯高町舟戸にかつてあった旅籠「長野屋」の跡地に、武四郎が宿泊したことを示す案内看板設置。
- 7月2日** 松浦武四郎記念館研究ワークショップ「武四郎に学ぶ会」発足。以前に松阪市小野江公民館で活動していた市民サークル「武四郎を読む会」が前身。
- 7月26日** 武四郎まつりのマスコットキャラクターのたけちゃんが初参加する、博物館や美術館などのマスコットキャラクターを対象にした人気投票「ミュージアムキャラクターアワード2022」投票開始。9月8日まで。
- 9月** 「ミュージアムキャラクターアワード2022」においてたけちゃんが全63キャラクター中の第10位、初参加の計21キャラクターの中では第3位にランクイン。
- 10月12日** 松阪市役所において松阪市と国際基督教大学が松浦武四郎についての共同研究を含む包括的な連携協力に関する協定を締結。
- 10月28日** 松阪市立小野江小学校において異文化体験講座「アイヌ語を学ぼう！」開催。講師はアイヌ文化活動アドバイザーの宇梶良子さん。
- 11月5日** 国際基督教大学湯浅八郎記念館主催で松阪市と国際基督教大学の包括連携協定締結を記念するオンライン講演会「一畳敷と松浦武四郎」開催。講師は松浦武四郎記念館の山本館長。
- 12月23日** 松浦武四郎誕生地において同保存会会員がすす払い実施。

令和5年（2023）

- 2月26日** 第28回武四郎まつり開催。札幌大学ウレシパクラブの学生たちがアイヌ古式舞踊披露。
- 3月31日** 『4コマまんが お〜い たけちゃん！〜松浦武四郎おもしろ活動記〜』出版。作画はいしかわけいいちさん、解説は山本命館長。
- 4月1日** 松浦武四郎誕生地において松浦武四郎誕生地保存会が「武四郎を偲ぶ桜花見会」をコロナ禍を経て4年ぶりに開催。
- 5月8日** 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類相当から5類に移行されることに伴い、松浦武四郎記念館・誕生地を含む市の施設入場時の検温、消毒液の設置、施設内や設備の消毒等が原則不要となる。
- 7月17日** 農業屋コミュニティ文化センターにおいて「世界的ピアニスト 松浦武四郎の子孫 関孝弘 ピアノリサイタル」開催。同日、関孝弘さんが松阪市ブランド大使に委嘱される。
- 10月2日** 三重テレビ放送の番組「新・ええじゃないか〜いい旅 いい発見〜」の「第27話〜松阪ゆかりの人気者をめぐる旅〜」において松浦武四郎記念館が紹介される。

令和6年（2024）

- 1月25日 鈴木直道北海道知事が一見勝之三重県知事と竹上真人松阪市長の案内で初めて来館。
- 2月2日 松浦武四郎が縁となり松阪市と包括連携協定を結ぶ国際基督教大学の学生と教職員が松阪市立嬉野中学校を訪問、英語ワークショップを実施。
- 2月25日 第29回武四郎まつり開催。札幌大学ウレシパクラブの学生たちがアイヌ古式舞踊披露。
- 5月2日 松阪市立小野江小学校主催地域散策学習「たけちゃんウォークラリー」開催。
- 5月22日 静嘉堂文庫美術館において開催中の特別展にあわせて明治安田ヴィレージ丸の内において「三重県松阪市物産展」開催。
- 6月23日 農業屋コミュニティ文化センターにおいて「世界的ピアニスト 松浦武四郎の子孫 関孝弘 ピアノリサイタル」開催。
- 7月3日 開館30周年を迎え、記念として松浦武四郎記念館と誕生地を無料開館。
- 同日 開館30周年を記念して、また松阪市の下水道事業のPRのため、武四郎まつりのマスコットキャラクターのたけちゃんをデザインしたカラーデザインマンホール蓋のお披露目式開催。
- 12月7日 松阪偉人顕彰団体協議会主催「わたしたちのまちの偉人シンポジウム～子どもたちとともに学ぶ松阪の偉人たち～」が松阪市産業振興センターにおいて開催され、コーディネーターとして山本命館長が、パネリストとして佐藤圭祐学芸員が登壇。またシンポジウムに先立ち、松阪市立小野江小学校6年生による劇「武四郎物語」上演。
- 12月20日 武四郎まつりのマスコットキャラクターのたけちゃんのカラーデザインマンホール蓋の絵柄をあしらったマンホールカードの配布開始。

3 入館者数の推移

松浦武四郎記念館（令和6年11月末時点）

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月 （※2）	3月	年度合計
平成6年度	（※1）			3,247	1,765	1,005	852	725	487	771	534	879	10,265
平成7年度	726	1,051	869	747	1,157	687	683	792	296	502	1,894	800	10,204
平成8年度	576	586	611	598	831	466	319	388	193	321	1,370	328	6,587
平成9年度	318	570	501	348	662	838	743	812	656	330	342	814	6,934
平成10年度	467	735	432	407	731	322	1,253	473	278	359	1,667	454	7,578
平成11年度	288	725	428	421	538	521	520	521	214	282	1,740	467	6,665
平成12年度	311	571	307	251	350	404	328	405	205	345	2,629	345	6,451
平成13年度	345	455	296	407	428	506	521	466	182	345	3,469	390	7,810
平成14年度	367	292	559	622	520	381	383	472	195	235	3,376	259	7,661
平成15年度	241	430	219	341	381	283	500	230	136	259	3,290	268	6,578
平成16年度	254	582	442	330	420	162	337	225	162	215	4,361	332	7,822
平成17年度	343	689	395	222	579	507	970	351	294	310	2,696	564	7,920
平成18年度	211	922	298	316	538	630	690	643	295	452	3,487	446	8,928
平成19年度	344	596	526	433	549	802	715	980	149	535	3,018	333	8,980
平成20年度	414	837	352	430	621	390	626	1,244	309	244	4,485	413	10,365
平成21年度	316	751	459	550	919	400	625	606	387	512	3,562	401	9,488
平成22年度	252	737	501	313	600	430	538	448	272	463	4,911	564	10,029
平成23年度	236	780	337	331	485	358	701	551	328	325	4,727	306	9,465
平成24年度	235	951	251	368	508	668	607	490	816	898	3,924	547	10,263
平成25年度	545	568	262	321	428	549	1,036	966	221	436	4,866	448	10,646
平成26年度	323	479	244	349	430	487	1,009	816	517	320	3,983	366	9,323
平成27年度	320	381	504	875	716	716	985	666	407	300	5,962	396	12,228
平成28年度	280	409	407	273	545	590	826	713	321	391	6,196	457	11,408
平成29年度	491	658	503	551	514	448	961	866	327	528	6,883	1,234	13,964
平成30年度	830	1,442	772	1,016	1,424	1,070	1,349	1,287	704	586	6,654	649	17,783
平成31・令和元年度	156	1,016	899	1,020	840	720	1,017	1,198	356	461	6,067	264	14,014
令和2年度	61	83	162	258	250	354	1,213	930	188	187	522	411	4,619
令和3年度（※3）	339	222	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	561
令和4年度（※3）	679	1,579	889	679	649	712	784	1,172	473	384	3,417	673	12,090
令和5年度	491	448	458	538	469	569	1,333	812	552	372	4,640	501	11,183
令和6年度	672	664	456	511	562	543	1,042	1,018	—	—	—	—	5,468

（※1）平成6年7月開館。

（※2）2月の入館者数には武四郎まつり当日の入館者を含む。

（※3）令和3年5月10日～令和4年4月23日はリニューアル工事のため休館。

累計

283,280

松浦武四郎誕生地（令和6年11月末時点） ※紙面の都合により年度別入館者数のみ記載。（単位：人）

平成29年度	3,495	令和3年度	1,197
平成30年度	9,566	令和4年度	4,953
平成31・令和元年度	5,780	令和5年度	4,307
令和2年度	2,991	令和6年度	2,390

※平成30年（2018）2月25日一般公開開始。

※入館者数には武四郎まつり当日の入館者を含む。令和2・3年度は武四郎まつり開催中止。

累計

34,679

4 展示

企画展示

たびびと・松浦武四郎
武四郎と和歌
蝦夷屏風とその周辺
出版者・松浦武四郎
地理学者・松浦武四郎
武四郎の旅と生涯
武四郎と周辺の人びと
たびびと・松浦武四郎Ⅱ
松浦武四郎とアイヌの人びと
武四郎の書と絵画
武四郎と考古学
武四郎とアイヌ文化
文人 武四郎
北海道の名付け親 松浦武四郎
旅と松浦武四郎～幕末から明治にかけて
武四郎と和歌
アイヌ民具と風俗画
武四郎と蝦夷地の地図
武四郎と絵画
武四郎と和歌
武四郎と晩年の旅
武四郎とアイヌの人びと
武四郎と和歌
武四郎の蝦夷地調査
晩年の武四郎
武四郎の見たアイヌ文化
武四郎の蝦夷地地図
文人 松浦武四郎
武四郎とアイヌ
武四郎の生涯
武四郎のうた
武四郎の蝦夷地調査
武四郎の生涯
文人松浦武四郎
武四郎とアイヌ民族
武四郎の知られざる生涯
幕末・維新を生きた武四郎
武四郎とアイヌ

平成6年11月8日～7年1月29日
平成7年1月31日～7年4月16日
平成7年4月18日～7年7月16日
平成7年8月29日～7年11月12日
平成7年11月14日～8年2月4日
平成8年5月1日～8年8月11日
平成8年8月13日～8年10月27日
平成9年3月11日～9年6月8日
平成9年6月10日～9年9月7日
平成9年9月9日～9年12月14日
平成9年12月16日～10年3月8日
平成10年3月10日～10年6月7日
平成10年6月9日～10年9月6日
平成10年9月8日～10年12月6日
平成10年12月8日～11年3月7日
平成11年3月9日～11年6月6日
平成11年6月8日～11年9月5日
平成11年11月23日～12年3月5日
平成12年3月7日～12年6月11日
平成12年8月15日～12年12月10日
平成12年12月22日～13年1月28日
平成13年3月20日～13年6月17日
平成13年6月19日～13年9月9日
平成13年12月18日～14年3月3日
平成14年3月5日～14年6月9日
平成14年6月11日～14年9月8日
平成14年12月10日～15年3月9日
平成15年3月11日～15年6月8日
平成15年6月9日～15年9月3日
平成15年12月9日～16年3月7日
平成16年3月9日～16年6月6日
平成16年6月8日～16年9月5日
平成16年12月7日～17年3月6日
平成17年3月8日～17年6月5日
平成17年6月7日～17年9月4日
平成17年12月6日～18年3月5日
平成18年3月7日～18年5月28日
平成18年5月30日～18年8月20日

武四郎の好古趣味	平成18年 8月22日～18年11月12日
武四郎の晩年	平成18年11月14日～19年 2月 4日
武四郎涅槃図	平成19年 2月 6日～19年 3月18日
幕末の武四郎	平成19年 3月20日～19年 6月10日
北蝦夷地を調査する	平成19年 6月12日～19年 9月 9日
武四郎をめぐる人びと	平成19年 9月11日～19年11月25日
武四郎のコレクション	平成19年11月27日～20年 2月 3日
武四郎の生涯	平成20年 2月 5日～20年 4月27日
武四郎と尊王攘夷思想	平成20年 4月29日～20年 7月 6日
アイヌ民族へのまなざし	平成20年 7月 8日～20年 8月31日
武四郎と文人たち	平成20年10月21日～20年12月14日
収集家 武四郎	平成20年12月16日～21年 2月 8日
北海道人 松浦武四郎	平成21年 2月10日～21年 4月 5日
武四郎の天神信仰	平成21年 4月 7日～21年 5月31日
晩年の武四郎	平成21年 6月 2日～21年 7月26日
武四郎の蝦夷地探検	平成21年 7月28日～21年 9月23日
幕末を生きた武四郎	平成21年 9月25日～21年11月23日
武四郎が読んだもの	平成21年11月25日～22年 1月17日
武四郎涅槃図の世界	平成22年 1月19日～22年 3月14日
武四郎の歌	平成22年 3月16日～22年 5月 9日
文人たちとの交流	平成22年 5月11日～22年 7月 4日
武四郎とアイヌ民族	平成22年 7月 6日～22年 8月29日
武四郎が見た幕末・維新の日本	平成22年 8月31日～22年10月24日
武四郎が集めた本	平成22年10月26日～22年12月23日
晩年の武四郎	平成22年12月25日～23年 2月20日
武四郎涅槃図	平成23年 2月22日～23年 4月17日
武四郎と和歌	平成23年 4月19日～23年 6月12日
武四郎と文人たち	平成23年 6月14日～23年 8月 7日
武四郎とアイヌ民族	平成23年 8月 9日～23年10月 2日
武四郎と幕末の志士たち	平成23年10月 4日～23年11月27日
武四郎の晩年	平成23年11月29日～24年 1月22日
北海道人 松浦武四郎の生涯	平成24年 1月24日～24年 3月20日
武四郎と古物収集	平成24年 3月22日～24年 5月13日
武四郎と和歌	平成24年 5月15日～24年 7月16日
武四郎とアイヌ民族	平成24年 7月18日～24年 9月17日
武四郎涅槃図の世界	平成24年 9月19日～24年11月18日
武四郎と文人たち	平成24年11月20日～24年12月 2日
武四郎と幕末の志士たち	平成25年 1月22日～25年 3月20日
武四郎の晩年	平成25年 3月22日～25年 5月19日
武四郎の古物収集	平成25年 5月21日～25年 7月21日
武四郎とアイヌ民族	平成25年 7月23日～25年 9月29日
武四郎と和歌	平成25年10月 1日～25年12月 1日

武四郎をめぐる文人たち	平成25年12月3日～26年2月2日
武四郎をめぐる志士たち	平成26年2月4日～26年4月6日
武四郎の晩年	平成26年4月8日～26年6月1日
北海道人 松浦武四郎の生涯	平成26年6月3日～26年8月3日
武四郎とアイヌ民族	平成26年8月5日～26年10月5日
武四郎をめぐる文人たち	平成26年12月9日～27年2月8日
武四郎をめぐる志士たち	平成26年2月10日～27年4月12日
武四郎の晩年	平成27年4月14日～27年6月7日
武四郎と和歌	平成27年6月9日～27年8月9日
武四郎とアイヌ民族	平成27年8月11日～27年9月27日
武四郎をめぐる文人たち	平成27年11月25日～28年1月17日
武四郎の涅槃図	平成28年1月19日～28年3月13日
武四郎と幕末維新	平成28年3月15日～28年5月15日
武四郎と和歌	平成28年5月17日～28年7月18日
武四郎の蝦夷地調査	平成28年7月20日～28年9月19日
武四郎が集めたもの	平成28年11月22日～29年1月22日
武四郎の生涯	平成29年1月24日～29年3月26日
武四郎と文人たち	平成29年3月28日～29年5月28日
幕末の武四郎	平成29年5月30日～29年7月30日
武四郎とアイヌ民族	平成29年8月1日～29年10月1日
武四郎の終活	平成29年10月3日～29年12月10日
武四郎が読んだ本	平成29年12月12日～30年2月12日
武四郎を生んだ松浦家	平成30年2月14日～30年4月22日
武四郎と旅	平成30年4月24日～30年6月24日
描かれたアイヌ民族	平成30年6月26日～30年8月26日
武四郎の古銭収集	平成30年8月28日～30年11月4日
錦絵の世界	平成30年11月6日～31年1月14日
武四郎の謎	平成31年1月16日～31年3月17日
武四郎の詩と歌	平成31年3月19日～令和元年6月16日
武四郎の生涯	令和元年6月18日～元年8月25日
幕末を生きた武四郎	令和元年8月27日～元年11月4日
武四郎の古物収集	令和元年11月6日～2年1月26日
武四郎と文人たち	令和2年3月17日～2年5月17日
旅に生きた武四郎	令和2年5月19日～2年7月14日
武四郎の蝦夷地調査	令和2年7月14日～2年9月6日
武四郎の詩と歌	令和2年9月8日～2年11月1日
武四郎が集めたもの	令和2年11月3日～3年1月11日
武四郎涅槃図の世界	令和3年1月13日～3年3月14日
武四郎と幕末・維新	令和3年3月16日～3年5月9日
(リニューアル工事のため閉館)	令和3年5月10日～4年4月23日
武四郎と幕末・維新	令和4年6月17日～4年7月31日
描かれたアイヌの人びと	令和4年8月5日～4年10月2日

武四郎の詩と歌	令和4年10月7日～4年12月4日
武四郎の蝦夷地調査	令和4年12月9日～5年1月29日
武四郎の涅槃図	令和5年2月3日～5年4月4日
武四郎と天神信仰	令和5年4月7日～5年5月28日
武四郎とアイヌの人々	令和5年6月2日～5年7月23日
武四郎と五街道	令和5年7月28日～5年9月24日
松浦武四郎の出版活動	令和5年12月1日～6年1月28日
武四郎と文人たち	令和6年2月2日～6年3月24日
武四郎と尊王攘夷	令和6年3月29日～6年5月26日
武四郎とめぐる史跡名勝	令和6年5月31日～6年7月21日
武四郎の晩年	令和6年7月26日～6年9月29日
武四郎と絵図・地図	令和6年10月4日～6年11月24日

■ 特別展示

開館20年記念特別展 武四郎涅槃図大集合	平成26年10月7日～26年12月7日
武四郎まつり20回記念特別コーナー展示 北方民族の装い	平成27年2月10日～27年3月22日
世にも稀なる蝦夷屏風	平成28年9月21日～28年11月20日
開館25周年記念特別展 蝦夷漫画の世界	令和2年1月28日～2年3月15日
リニューアルオープン記念展示 武四郎のすべて	令和4年4月24日～4年6月12日
メナシのアイヌとともに生きる～加賀伝蔵、松浦武四郎、南摩綱紀～	令和5年9月28日～5年11月26日
令和6年度プンカラ協働展示「三重から北海道へ」	令和6年11月29日～7年1月19日
開館30周年・松阪市制20周年記念特別展「武四郎と龍馬」	令和6年1月24日～7年3月23日

■ 企画展示室貸出

アイヌ民芸工芸展	平成28年11月11日～28年11月13日
パネル展「太平記の史跡」	平成28年12月6日～29年1月9日
アイヌ文様刺繍展「女の手仕事」	平成30年11月1日～30年11月4日

■ 移動展示

「おのえ150年のあゆみ」内で教科書展示	令和5年11月11日～5年11月16日 会場：松阪市立小野江小学校
----------------------	--------------------------------------

■ 特別体験

大首飾り試着体験	平成30年11月1日～11日
----------	----------------

5 寄贈資料・寄託資料・寄贈図書

寄贈資料

- 旅籠「渡海屋」講札 9点 (平成6年 濱田市郎氏寄贈)
- 三重松浦家伝来刀剣類 5点 (平成6年～18年 三重松浦家寄贈)
- 松浦武四郎記念碑の拓本 22点 (平成7年 千賀松生氏寄贈)
- 足代弘訓宛松浦武四郎書簡綴 2点 (平成13年 住田正二氏寄贈)
- オブジェ・高僧の書等 51点 (平成14年 加藤一山氏寄贈)
- 三雲町史関係資料 約800点 (平成15年 三雲町史編纂室から移される)
- 楽斎筆五行書 1点 (平成16年 本教寺寄贈)
- 新論 (会沢正志斎著書) 2点 (平成16年 笹木義友氏寄贈)
- 松浦孫太・武彦関係資料 189点 (平成16年 松浦一雄氏寄贈)

※平成12年から寄託

- 駒田倍吉宛松浦武四郎書簡 34点 (平成16年 駒田具夫氏寄贈)
- 三重松浦家旧蔵資料 約500点 (平成18年 三重松浦家寄贈)
- もっこ 1点 (平成19年 戸部千春氏寄贈)
- 旅籠「渡海屋」膳・椀類 112点 (平成19年 濱田佳明氏寄贈)
- アンモナイト化石 1点 (平成20年 萩原正夫氏寄贈)
- 松浦武四郎刊行本 20点 (平成21年 松浦登巳郎氏寄贈)
- 蝦夷風俗図巻 1点 (平成21年 佐々木利和氏寄贈)
- 蓮月焼 1点 (平成24年 西田稔秋氏寄贈)
- 甚目村絵図 1点 (平成25年 齋藤猛夫氏寄贈)

寄託資料

- 制札・絵図 7点 (平成6年 宇野誠一氏寄託)
- 旅籠「渡海屋関係資料」 5点 (平成19年 濱田佳明氏寄託)
- 松浦本家旧蔵資料 約20点 (平成22年 松浦壽久氏寄託)

■ 主な寄贈図書等

○松浦一雄氏寄贈図書	松浦武四郎・北海道関係の図書
○服部誠氏寄贈図書	昭和初期の北海道関係の図書など
○飯田久夫氏寄贈図書	明治時代に出版された地誌など
○小玉道明氏寄贈図書	展覧会図録、『国史大辞典』、『国書総目録』など
○高田直彦氏寄贈図書	『故宮清室図録』、『日本歴史』など
○中谷誠一氏寄贈資料	武四郎が登場するパンフレット、新聞、ビデオなど
○間島吉延氏寄贈パネル等	武四郎が鏡を奉納した天満宮を紹介するパネル、大型地図など
○大林日出雄氏収集図書	戦前・戦中に出版された教科書のコレクション
○宇野慈郎氏寄贈図書	『久居市史』、『一志町史』など
○佐藤貞夫氏寄贈図書	松浦武四郎関係の図書
○佐々木利和氏寄贈図書	松浦武四郎・アイヌ文化関係の図書
○松浦登巳郎氏寄贈図書	松浦武四郎関係の図書
○松浦信彦氏収集図書	北海道やアイヌ文化関係の貴重書（一部は寄託）
○宇野文男氏寄贈図書	『季刊民族学』・絵図関係
○松浦正明氏寄贈図書	松浦武四郎関係の図書
○松浦史明氏寄贈図書	松浦武四郎関係の図書
○河治和香氏寄贈図書	松浦武四郎関係の図書

この他にも開館から30年間にたくさんの方から図書等をご寄贈いただきました。
本当にありがとうございました。

6 レプリカ作製

松浦武四郎記念館では平成30年度以降、展示内容の充実等を図るため、実物資料のレプリカを作製している。内容については以下の通り。

平成30年度

点 数：1点

実物資料の名称：大首飾り

(公益財団法人 静嘉堂静嘉堂文庫美術館所蔵)

委託業者：ぬなかわヒスイ工房



大首飾り レプリカ

令和3年度

点 数：7点

実物資料の名称：渋団扇帖（6か所）

新板蝦夷土産道中寿五六

新板箱館道中名所寿語六

聖跡二十五霊社巡拝双六

武四郎風刺双六

社寺覚書（見開き2か所）

雑記（見開き1カット）

雑記（見開き1カット）

委託業者：株式会社 トータルメディア開発研究所



渋団扇帖(エドワード・モース筆)
レプリカ

令和6年度（進行中）

点 数：1点

実物資料の名称：アイヌ狩猟図

委託業者：株式会社 大入



アイヌ狩猟図 実物（一部分）

7 コスモス文化振興基金

松浦武四郎に関する資料の保存と活用、収集等に要する基金として、松阪市が平成12年度に設立した。寄付金は、資料の保存修理や購入に充てている。年度ごとの寄付の件数と基金の活用事例については以下の通り。

年 度	寄付件数	基金の活用事例
平成12年度（基金創設）	3	—
平成13年度	1	—
平成14年度	1	「武四郎涅槃図」保存修理
平成15年度	1	—
平成16年度	1	—
平成17年度	1	—
平成18年度	2	—
平成19年度	1	—
平成20年度	2	—
平成21年度	1	『蝦夷大概図』購入
平成22年度	0	「蝦夷人機織図」購入
平成23年度	0	—
平成24年度	0	—
平成25年度	1	「蝦夷屏風」保存修理
平成26年度	0	「蝦夷屏風」保存修理
平成27年度	0	「古鈴図」「稲図」「大台山眺望図」「山本杉芽書簡」保存修理
平成28年度	0	『豆遊日誌』『夏景山水図』保存修理
平成29年度	0	「野田竹溪書簡」「北海道国郡図」他保存修理
平成30年度	0	「檜林昌建書簡」保存修理、大首飾りレプリカ作製
平成31・令和元年度	4	「瀑布図」「玉ほこの詠草」保存修理
令和2年度	0	「阿蘭陀船図」「渋団扇帖 一」保存修理
令和3年度	0	「蛤観音図」「渋団扇帖 二」保存修理
令和4年度	0	「白衣観音図」「渋団扇帖 三」保存修理
令和5年度	8	「伊勢万歳図」「愛蓮之説」保存修理
令和6年度	4	「七言律詩」「英豪書翰」保存修理
累 計	31	

8 資料貸出(平成26年度以降分)

年 度	件数	貸 出 先
平成26年度	2	・アイヌ民族博物館 開館30周年特別展「共生の世界へ 松浦武四郎とその時代展」(10月25日～11月30日)
		・朝日町歴史博物館 企画展「名物やきはまぐり・街道の文化」(1月17日～2月15日)
平成27年度	2	・愛媛県立歴史文化博物館 特別展「四国遍路と巡礼」(10月10日～12月6日)
		・九州国立博物館 開館10周年記念特別展「美の国 日本」(10月18日～11月29日)
平成28年度	1	・朝日町歴史博物館 企画展「歴史にみる自己 ～表現のかたち～」(10月29日～11月27日)
平成29年度	3	・北海道士別市立博物館・名寄市北国博物館 松浦武四郎天塩川踏査160年記念展(巡回展示)(7月5日～11月7日)
		・山徳記念館((株)伊勢福)徳力富吉郎版画特別展展示(12月8日～12月27日)
		・松阪市立歴史民俗資料館(12月8日～3月9日)
平成30年度	4	・北海道博物館第4回特別展 北海道命名150年 松浦武四郎生誕200年記念事業「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎 ー見る、集める、伝えるー」(6月30日～8月26日)
		・第21回企画展 北海道命名150年 松浦武四郎生誕200年記念事業「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎 ー見る、集める、伝えるー」(9月15日～11月11日)
		・特別展 松浦武四郎生誕二百年記念「ICUに残る一畳敷」(9月11日～11月9日)
		・サントリー美術館「河鍋曉斎 その手に描けぬものなし」(2月6日～3月31日)
令和元年度	0	—
令和2年度	1	・徳島市立徳島城博物館 令和2年度特別展示「四国遍路と徳島藩」(10月1日～1月7日)
令和3年度	2	・記念館リニューアル工事休館中にPR展示等にて使用(3月31日～令和4年末)
		・高知県立坂本龍馬記念館 令和3年度特別展示「龍馬と北の大地」展第1部「蝦夷地へのまなざしー龍馬と幕末の志士」(9月15日～12月15日)
令和4年度	2	・国立アイヌ民族博物館 第5回特別展示「イコロ ウエカリレーアイヌ資料をコレクションするー」(9月17日～11月20日)
		・高知県立坂本龍馬記念館 令和4年度特別展「龍馬の師ー勝海舟生誕二百年」展(2月10日～4月30日)
令和5年度	0	—
令和6年度	3	・静嘉堂文庫美術館@丸の内 静嘉堂文庫竣工100年 特別展「画鬼 河鍋曉斎×鬼才 松浦武四郎 ー「地獄極楽めぐり図」からリアル武四郎涅槃図まで」(4月13日～6月9日)
		・東京国立近代美術館「ハニワと土偶の近代」(10月1日～12月22日)
		・徳島市立徳島城博物館 令和6年度 徳島市立徳島城博物館 特別展「松浦武四郎の遍路 ー北海道人、四国を旅する」(10月12日～11月24日)

9 資料の利用と団体見学・外部への講師派遣

資料利用関係（平成26年度以降分、令和6年11月末時点）

年度	閲覧・撮影・複写件数	掲載件数
平成26年度	3	21
平成27年度	9	24
平成28年度	25	369
平成29年度	16	110
平成30年度	25	182
令和元年度	16	52
令和2年度	5	43
令和3年度	7	37
令和4年度	11	32
令和5年度	8	22
令和6年度	7	15

団体見学・講師派遣（平成26年度以降分、令和6年11月末時点）

	団体見学件数	外部の講演会等への講師派遣件数
平成26年度	86	19
平成27年度	78	27
平成28年度	65	27
平成29年度	100	22
平成30年度	169	47
令和元年度	102	29
令和2年度	54	12
令和3年度	20	17
令和4年度	127	24
令和5年度	116	18
令和6年度	71	16

10 武四郎講座・講演会・トークイベント

武四郎講座

回	開催日	講師（敬称略）	タイトル	受講者数
1	平成17年 7月10日	山本 命（当館学芸員）	松浦武四郎の生涯	15
2	8月14日	山本 命（当館学芸員）	武四郎とアイヌ民族	23
3	9月11日	山本 命（当館学芸員）	武四郎をめぐる人々	23
4	10月9日	山本 命（当館学芸員）	武四郎の趣味の世界	24
5	11月20日	山本 命（当館学芸員）	聖跡二十五霊社順拝双六を読む	15
6	12月11日	山本 命（当館学芸員）	武四郎の大台ヶ原探査	28
7	平成18年 1月8日	記念館職員	新春お楽しみ会（アイヌ料理・イケマのネックレス作成）	24
8	2月12日	山本 命（当館学芸員）	武四郎と尊皇攘夷運動	20
9	3月26日	広谷 良韶	北海道の浜歩き	28
10	5月14日	山本 命（当館学芸員）	明治維新の武四郎	23
11	6月11日	山本 命（当館学芸員）	武四郎の地図作り	14
12	7月9日	山本 命（当館学芸員）	武四郎の家出	22
13	8月20日	山本 命（当館学芸員）	武四郎の樺太調査	29
14	9月10日	山本 命（当館学芸員）	草の舎のあるじ武四郎	21
15	10月8日	山本 命（当館学芸員）	武四郎とふるさと松坂	19
16	11月12日	山本 命（当館学芸員）	はじめての蝦夷地調査	32
17	12月10日	八重 清敏 服部 裕子	アイヌの祈りと踊り	31
18	平成19年 1月14日	戸部 千春	松浦武四郎が記録した知床の義経伝説	36
19	2月11日	広谷 良韶	北海道の浜歩き	65
20	3月11日	山本 命（当館学芸員）	武四郎の涅槃図	33
21	4月8日	山本 命（当館学芸員）	幕末の武四郎	37
22	5月13日	山本 命（当館学芸員）	5回目の北海道探査～150年前の武四郎	29
23	6月10日	佐藤 貞夫	松浦武四郎と大台ヶ原	58

回	開催日	講師（敬称略）	タイトル	受講者数
24	7月8日	山本 命（当館学芸員）	松浦武四郎が調査した天塩川	32
25	8月12日	山本 命（当館学芸員）	武四郎研究の最前線	48
26	9月9日	三上 雅史 （友の会会員）	北海道を語る集い&ディジュリドゥ演奏会	62
27	10月14日	山本 命（当館学芸員）	武四郎追蹤 大台ヶ原	46
28	11月18日	高瀬 英雄（当館館長）	「石狩川治水100年、松浦武四郎踏査150年フォーラム」への参加報告&僕が見た石狩川	51
29	12月9日	山本 命（当館学芸員）	松浦武四郎関係資料調査速報 仙台・水戸編	54
30	平成20年 1月27日	秋辺 日出男	アイヌ民族が語る“松浦武四郎”	75
31	2月23日	対談・群読・古式舞踊・しょんがいき音頭	松浦武四郎生誕190年記念事業オープニングイベント（松阪市文化会館）	1,400
32	4月13日	山本 命（当館学芸員）	松浦武四郎とその資料	70
33	5月11日	山本 命（当館学芸員）	武四郎が蝦夷地に渡るまで 前編	59
34	6月8日	山本 命（当館学芸員）	武四郎が蝦夷地に渡るまで 後編	47
35	7月13日	山本 命（当館学芸員）	蝦夷地を探る	50
36	8月10日	山本 命（当館学芸員）	アイヌ民族の理解者として	56
37	9月14日	山本 命（当館学芸員）	幕末の志士とともに	64
38	12月14日	山本 命（当館学芸員）	維新に生きる	42
39	平成21年 1月11日	山本 命（当館学芸員）	趣味に生きる	37
40	2月8日	山本 命（当館学芸員）	老いてなお衰えず	77
41	4月12日	山本 命（当館学芸員）	武四郎の天神信仰	43
42	5月10日	山本 命（当館学芸員）	松浦武四郎と世古格太郎	66
43	6月14日	山本 命（当館学芸員）	松浦武四郎と竹川竹斎	73
44	7月12日	山本 命（当館学芸員）	松浦武四郎と榎林昌建（二見一鷗斎）	32
45	8月9日	山本 命（当館学芸員）	武四郎はなぜ6度も蝦夷地を探検したか	52
46	9月13日	高瀬 英雄 （当館館長。友の会と共催）	北海道で松浦武四郎翁の足跡を訪ねる	45
47	10月11日	山本 命（当館学芸員）	武四郎をめぐる女性たち	32
48	11月8日	山本 命（当館学芸員）	幕末の志士たちとの交流 その1	31
49	12月13日	山本 命（当館学芸員）	読書家武四郎が読んだもの	36

回	開催日	講師（敬称略）	タイトル	受講者数
50	平成22年 1月10日	山本 命（当館学芸員）	幕末の志士たちとの交流 その2	33
51	2月14日	安村 敏信	武四郎涅槃図のこし方	45
52	3月14日	山本 命（当館学芸員）	松浦武四郎と鈴木香峰	36
53	4月11日	山本 命（当館学芸員）	武四郎が詠んだ和歌	33
54	5月9日	山本 命（当館学芸員）	武四郎と土佐の志士たち	37
55	6月13日	山本 命（当館学芸員）	「文人たちとの交流」展解説	33
56	7月11日	山本 命（当館学芸員）	北海道という名前と武四郎	25
57	8月8日	山本 命（当館学芸員）	「武四郎とアイヌ民族」展解説	41
58	9月12日	佐藤 貞夫（友の会主催）	燼心余赤に見る幕史としての武四郎	41
59	10月10日	山本 命（当館学芸員）	ペリー来航と武四郎	42
60	11月14日	山本 命（当館学芸員）	歴史シンポin宇和島「松浦武四郎の北海道と宇和島」への参加報告	28
61	平成23年 2月13日	佐藤 貞夫	明治15年の武四郎	21
62	5月8日	山本 命（当館学芸員）	武四郎と伊勢国におけるネットワーク	50
63	6月12日	山本 命（当館学芸員）	武四郎の家出の真相	36
64	7月10日	山本 命（当館学芸員）	武四郎さんの15歳の買い物	36
65	8月14日	山本 命（当館学芸員）	「松浦武四郎誕生地と武四郎」展解説	40
66	10月9日	山本 命（当館学芸員）	幕末の武四郎	51
67	11月13日	山本 命（当館学芸員）	武四郎が交流した志士	41
68	12月11日	山本 命（当館学芸員）	東北・志津川に届いた武四郎の情報	46
69	平成24年 1月8日	山本 命（当館学芸員）	武四郎と張り合った好古家・江藤正澄	37
70	2月12日	山本 命（当館学芸員）	明治十四年の武四郎—辛巳紀行の世界—	39
71	4月8日	山本 命（当館学芸員）	武四郎の古物収集—収集家武四郎への評価—	26
72	8月12日	山本 命（当館学芸員）	松浦武四郎誕生地と松浦武四郎	26
73	9月9日	山本 命（当館学芸員）	伊勢街道・おかげ参りと武四郎	32
74	10月14日	山本 命（当館学芸員）	武四郎涅槃図の謎	29
75	11月11日	福永 昭（友の会主催）	武四郎と交流のあった人びと	37

回	開催日	講師（敬称略）	タイトル	受講者数
76	12月9日	山本 命（当館学芸員）	武四郎が記録した AINU ART	28
77	平成25年 2月10日	米本 一美（友の会主催）	文献に観る「武四郎翁所蔵」の「穀壁」譲渡を探る	41
78	4月14日	橋本 晃（友の会主催）	隔靴搔痒の日々	38
79	5月12日	山本 命（当館学芸員）	武四郎の晩年	41
80	6月9日	山本 命（当館学芸員）	「武四郎の古物収集」展解説	36
81	7月14日	佐藤 貞夫	大台ヶ原と松浦武四郎「大台ヶ原眺望図」をどう見るか	51
82	8月11日	山本 命（当館学芸員）	武四郎の蝦夷地探検	32
83	9月8日	居壁 太	エカシ・フチの思いを	40
84	10月13日	世古 潤壹良（友の会主催）	原田二郎と積善会	51
85	11月10日	福永 昭（友の会主催）	富士信仰と武四郎	37
86	12月8日	山本 命（当館学芸員）	静嘉堂文庫で見つかった武四郎の古物	38
87	平成26年 1月12日	山本 命（当館学芸員）	世にも稀なる蝦夷屏風	41
88	2月9日	坂田 雅之 （株）坂田墨珠堂。友の会主催）	蝦夷屏風の修理 ～文化財修理における装演分野～	54
89	4月13日	高瀬 英雄 （当館元館長。友の会主催）	松浦武四郎 ー今、北海道でー	39
90	5月9日	山本 命（当館学芸員）	武四郎の古物収集ー撥雲余興跋文に込めたメッセージ	51
91	6月8日	山本 命（当館学芸員）	明治時代の武四郎ー明治維新	36
92	7月13日	山本 命（当館学芸員）	開館20年記念式典の報告	38
93	9月14日	佐藤 貞夫（友の会主催）	明示を旅する武四郎	53
94	11月9日	山本 命（当館学芸員）	武四郎涅槃図大集合	40
95	12月14日	山本 命（当館学芸員）	武四郎と川喜田石水	35
96	平成27年 1月11日	山本 命（当館学芸員）	武四郎をめぐる文人たち	34
97	3月9日	佐藤 貞夫	明治十二年の武四郎「己卯記行」を読む	38
98	4月12日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎の蝦夷地地図	34
99	5月10日	宇野 文男	記念館のこれからを考える ー博物館入門 その1ー	52
100	6月14日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎の家族	38
101	7月12日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎の若気の至り	50

回	開催日	講師（敬称略）	タイトル	受講者数
102	8月9日	山本 命（当館主任学芸員）	蝦夷地調査にかけるおもい	38
103	9月13日	宇野 文男	博物館をつくる ー博物館入門 その2ー	27
104	10月11日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎と吉田松陰	40
105	11月8日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎と大久保利通	37
106	12月13日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎と岩倉具視	43
107	平成28年 1月10日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎の处世術	33
108	2月14日	坂田さとこ (株)坂田墨珠堂。友の会主催	掛軸・巻子の保存修理と取り扱い	36
109	3月13日	佐藤 貞夫	「庚辰紀行」を読む	43
110	4月10日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎と伊勢神宮 その1	43
111	5月8日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎と伊勢神宮 その2	52
112	6月12日	山本 命（当館主任学芸員）	刀剣研磨の実演と体験	午前 41 午後 24
113	7月10日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎と最上徳内	42
114	8月14日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎の蝦夷地調査	45
115	9月11日	小玉 道明	広休の本草学、竹四郎の北方調査	47
116	11月13日	川上 裕子他	アイヌに生まれて	68
117	12月11日	山本 命（当館主任学芸員）	父となった武四郎	41
118	平成29年 1月8日	山本 命（当館主任学芸員）	松浦武四郎と南朝	47
119	2月12日	坂田さとこ (株)坂田墨珠堂。友の会主催	先人に学ぶ「伝える」という心	47
120	3月12日	佐藤 貞夫	「明治を旅する武四郎」まとめ	69
121	4月9日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎とペリー来航	47
122	5月14日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎のルーツ	69
123	6月11日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎と島義勇	39
124	7月9日	佐藤 貞夫	松浦武四郎と大杉谷	65
125	8月13日	山本 命（当館主任学芸員）	近世蝦夷人物誌の謎	45
126	9月10日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎の北海道一周双六で遊ぶ	46
127	10月8日	佐藤 貞夫	大台山頂眺望図をめぐる	51

回	開催日	講師（敬称略）	タイトル	受講者数
128	11月12日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎の終活	41
129	12月10日	山本 命（当館主任学芸員）	聖跡二十五霊社巡拝双六で遊ぶ	39
130	平成30年 1月14日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎の古銭収集	49
131	2月11日	嘉門 一彦（㈱坂田墨珠堂）	文化財の調査と修理技術 重要文化財松浦武四郎 関係資料の修理を通じて	40
132	3月11日	佐藤 貞夫	「四国遍路道中雑誌」を読むー若き武四郎の旅ー	50
133	4月9日	高瀬 英雄（当館元館長）	松浦武四郎は間違いなく松坂人です	55
134	5月13日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎の生涯	66
135	6月10日	草川 貴紀	武四郎のふるさと小野江	59
136	7月8日	村田 稔	大杉谷と武四郎	47
137	8月12日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎が生きた時代	67
138	9月9日	河治 和香 村川 透	トークイベント①	72
139	11月11日	河治 和香 本田 優子（札幌大学）	トークイベント②	73
140	12月9日	河治 和香 安村 敏信	トークイベント③	68
141	平成31年 1月13日	河治 和香 平野 英夫	トークイベント④	81
142	2月10日	小玉 道明	近代初期の松浦武四郎	64
143	3月10日	佐藤 貞夫	『鹿角日誌』・『壺の碑考』を読む 地誌学者・紀行作家としての武四郎	45
144	4月14日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎はなぜ蝦夷地をめざしたか	39
145	令和元年 5月12日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎はなぜ馬角齋と号したのか	48
146	6月9日	濱 博之	竹川竹齋と武四郎	67
147	8月11日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎はなぜ「北加伊道」と提案したか	32
148	9月8日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎はなぜ大台ヶ原を目指したか	33
149	11月10日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎はなぜ一疊敷を作ったか	41
150	12月8日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎はなぜ16歳で家を出たか	40
151	令和2年 1月12日	山本 命（当館主任学芸員）	東奥沿海日誌を読む	53
152	2月9日	佐々木 利和	蝦夷漫画と蝦夷島奇観	94
	3月8日	齋藤 玲子（国立民族学博 物館）	受け継がれるアイヌ文化	（中止）

回	開催日	講師（敬称略）	タイトル	受講者数
153	7月12日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎と病	37
154	8月9日	高瀬 英雄（当館元館長）	わたしたちも武四郎さん探しを	41
155	9月13日	桐田 貴史（石水博物館）	川喜田石水と武四郎－江戸時代末期を中心に－	46
156	10月11日	山本 命（当館主任学芸員）	谷三山と松浦武四郎	33
157	11月8日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎の著書	25
158	12月13日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎に関する番組鑑賞	24
159	令和3年 3月14日	山本 命（当館主任学芸員）	武四郎涅槃図の面白さ	44
160	令和4年 5月8日	山本 命（当館館長）	旅の達人 松浦武四郎	44
161	6月12日	山本 命（当館館長）	交流の達人 松浦武四郎	35
162	7月10日	山本 命（当館館長）	描く達人 松浦武四郎	33
163	8月14日	山本 命（当館館長）	伝える達人 松浦武四郎	26
164	9月11日	山本 命（当館館長）	集める達人 松浦武四郎	34
165	10月9日	山本 命（当館館長）	松浦武四郎と西郷隆盛	28
166	11月13日	山本 命（当館館長）	松浦武四郎と四国遍路	31
167	12月11日	山本 命（当館館長）	松浦武四郎の蝦夷地調査	34
168	令和5年 1月8日	山本 命（当館館長）	武四郎の一畳敷	28
169	2月12日	山本 命（当館館長）	武四郎涅槃図を楽しむ	41
170	3月12日	三浦 泰之（北海道博物館）	松浦武四郎研究の今 －武四郎の蝦夷地調査を中心に	66
171	4月9日	山本 命（当館館長）	武四郎の天神信仰	40
172	5月14日	佐藤 圭祐（当館学芸員）	武四郎にとっての西行法師	42
173	6月11日	山本 命（当館館長）	豆遊日誌を読む－日米和親条約の裏側	30
174	7月9日	山本 命（当館館長）	巡豆日誌を読む－日露和親条約の裏側	44
175	8月13日	佐藤 圭祐（当館学芸員）	武四郎と五街道	45
176	9月10日	山本 命（当館館長）	武四郎の旅の資金	40
177	9月30日	天方 博章（羅臼町郷土資料館）	オホーツク文化に見るアイヌ精神文化への鼓動	29
177	9月30日	石渡 一人（別海町郷土資料館）	アイヌ語通辞(通訳)加賀伝蔵	29

回	開催日	講師（敬称略）	タイトル	受講者数
178	10月8日	山本 命（当館館長）	武四郎と加賀伝蔵	40
179	12月10日	世古 詩央里（当館学芸員）	武四郎の出版活動	29
180	令和6年 1月14日	山本 命（当館館長）	武四郎のお正月	34
181	2月11日	山本 命（当館館長）	武四郎の遺言	40
182	3月10日	三浦 泰之（北海道博物館）	松浦武四郎と本草学者・山本亡羊	51
183	4月14日	山本 命（当館館長）	武四郎と尊王攘夷	37
184	5月12日	世古 詩央里（当館学芸員）	松浦武四郎の孫 孫太	50
185	6月9日	佐藤 圭祐（当館学芸員）	武四郎とめぐる史跡名勝	41
186	7月14日	北川 雅樹 宇野 文男	松浦武四郎記念館開館30年記念座談会①「記念館ができるまで」	39
187	8月11日	佐々木 利和 高瀬 英雄（当館元館長）	松浦武四郎記念館開館30年記念座談会②「開館30年の歩み」	39
188	9月8日	山本・佐藤・世古（当館館長と学芸員）	松浦武四郎記念館開館30年記念座談会③「記念館のこれから」	36
189	10月13日	佐藤 圭祐（当館学芸員）	武四郎と絵図・地図	41
190	11月10日	倉田 英司（四日市大学）	旧三雲町の妻入町屋 ～武四郎が見た参宮街道のまちなみ～	38

講演会・トークイベント

開催日	講師（敬称略）	タイトル	受講者数
令和元年 7月16日	大石 静（脚本家） 若泉 久朗（NHK札幌放送局）	松浦武四郎ドラマ放送記念講演会	1,100
令和5年 11月12日	小野 哲也 （北海道標津町ポー川史跡自然公園）	会津藩標津代官南摩綱紀とメナシアイス	28
令和6年 12月8日	北嶋 由紀 （国立アイヌ民族博物館）	アイヌの装い	36

11 体験ワークショップ

アイヌ文化体験教室 ※公益財団法人アイヌ民族文化財団（旧称：アイヌ文化振興・研究推進機構）アイヌ文化活動アドバイザー派遣事業 申請分

年 度	月 日	内 容	講師（敬称略）	参加人数
平成12	1 / 21	アイヌ古式舞踊体験教室	アイヌ民族博物館 （北海道白老町）	（不明）
平成13	2 / 17	アイヌ伝承料理体験※	居壁 リセ子 居壁 太 床 絵美	16
平成14	2 / 2	アイヌ民族楽器ムックリ製作体験※	居壁 太	12
平成15	1 / 25	アイヌ文様刺繍体験（Tシャツ）※	星野 工	18
	2 / 1	アイヌ文様木彫り体験（コースター）※	居壁 太	14
平成16	1 / 30	樹皮編み体験※	阿部 弘美	13
平成17	10/29～30	アイヌ文様刺繍体験（タペストリー）※	宇梶 静江	15
平成18	9/30～10/ 1	アイヌ文様刺繍体験（モウル）※	宇梶 静江	15
	1 / 20	講演会、木彫り体験教室（イタ [盆]）※	高野 繁廣	計163
平成19	9 / 29～30	講演会、アイヌ古式舞踊体験※	押野 千恵子	計180
	1 / 13～14	アイヌ文様刺繍体験（ベスト）※	涼 宇古	15
平成20	11/29～30	コースター作り、アイヌ文様刺繍体験（ポシェット）※	宇梶 良子	計35
平成21	10/31～11/30	講演会、アイヌ文様刺繍体験（エプロン）※	宇梶 良子	（不明）
平成22	10/29～30	アイヌ文様木彫り体験（ペンダント）※	星野 工	計32
	1 / 29～30	講演会、アイヌ文様刺繍体験（タペストリー）※	上武 やす子	計15
	3 / 20～21	チタラペ（ござ編み）製作体験※	上武 やす子	6
平成23	6 / 24～26	アイヌ料理作り、サラニプ（編みかご）作り体験※	長縄 由可利	計33
	7 / 30～31	続サラニプ（編みかご）作り※	長縄 由可利	12
	10/28～30	講演会、アイヌ文様刺繍（タペストリー）※	宇梶 良子	計105
平成24	9 月	アイヌ文様刺繍体験（松浦武四郎記念館：樺太アイヌ文様、松阪市立小野江小学校：巾着に刺繍）※	宇梶 良子	計42
平成25	9 / 28～30	講演会、アイヌ文化体験、木彫り体験※	居壁 太 平田 幸 工藤 千秋	計100
	11/29～12/ 1	アイヌ文様刺繍体験（ストール）※	宇梶 良子	20
平成26	8 / 29～31	アイヌ文様刺繍体験（ポシェット）※	宇梶 良子	37

年 度	月 日	内 容	講師（敬称略）	参加 人数
平成27	10/31～11/1	講演会、アイヌ文様刺繍体験（エプロン）※	宇梶 良子	計49
平成28	10月	講演会、アイヌ文様刺繍体験（エコバッグ）※	宇梶 良子	計53
	10/23	ミニ蝦夷屏風を作ろう	松浦武四郎記念館職員	8
平成29	9/29～10/1	講演会、アイヌ文様刺繍体験（マタンプシ）※	宇梶 良子	計58
平成30	9/29～10/1	講演会、アイヌ文様刺繍体験（テクンペ）※	宇梶 良子	計77
令和元	10/19～21	講演会、アイヌ文様刺繍体験（タペストリー）※	宇梶 良子	計61
令和4	8/14	ずばんばをつくろう	記念館職員	6
	11/26～28	講演会、アイヌ文様刺繍体験（シマフクロウの夫婦図）※	宇梶 良子	計73
令和5	8/6	浮世絵刷りを体験しよう （体験キットを三重県総合博物館から借用）	記念館職員	24
令和6	8/17	渋団扇帖をつくろう	記念館職員	8



「ミニ蝦夷屏風を作ろう」の様子



「渋団扇帖をつくろう」の様子

展示会関連ワークショップ

年 度	月 日	名 称	講 師	参加 人数
令和6	12/8	自分だけのミニタマサイを作ろう！ （関連の展示会） 名称：令和6年度ブンカラ協働展示「三重から北海道 へーアイヌ文化と出会った人々」 主催：国立アイヌ民族博物館 共催：松浦武四郎記念館 大黒屋光太夫記念館 公益財団法人石水博物館	国立アイヌ民族博 物館教育普及室職 員	23

12 研究ワークショップ「武四郎に学ぶ会」

松浦武四郎記念館の学芸員と、記念館周辺に居住する武四郎研究者や武四郎に興味のある方が、ともに武四郎研究に取り組む場として活動が続けている。令和4年（2022）7月2日に第1回目の例会を開催して以来、前身にあたる松阪市小野江公民館の市民サークル「武四郎を読む会」の活動を参考に、毎月第1・第3土曜日の午前9時半から11時半まで、松浦武四郎記念館の学芸員を含む会員18名（令和7年1月現在のうち約5～6名が参加し、研究報告のほか、松浦武四郎が編集・出版した絵すごろく『新板箱館道中名所寿語六』^{しんばんはこだてどうちゅうめい}の解説など様々な取り組みを実施している。なお令和5年（2023）8月以降、記念館事務局の事務負担軽減のため、毎月第3土曜日の活動については例会ではなく自由研究とし、参加者を主体とした松浦武四郎書簡の解説や意見交換などに取り組んでいる。年度末には会誌を発行しており、内容については試行錯誤を続けながら、今後も最新の研究成果などを掲載・発信していく予定である。会誌の内容については以下の通り（執筆者の敬称略）。

令和4年度会誌

- ・研究ワークショップ「武四郎に学ぶ会」の会誌発刊に寄せて（山本 命）
- ・「武四郎を読む会」から「武四郎に学ぶ会」へ（森川 正美）
- ・「武四郎に学ぶ会」に出席して（安藤 忠治）
- ・自己紹介と研究テーマ「武四郎にとっての西行」（佐藤 圭祐）
- ・安政元年12月21日、日露の間に和親条約が結ばれる
武四郎のやるかたない悲憤、悔しさ（佐藤 貞夫）
- ・令和4年度 松浦武四郎記念館研究ワークショップ
「武四郎に学ぶ会」活動状況



例会の様子

令和5年度会誌

- ・刊行の辞（山本 命）
- 【共同研究「絵双六」中間報告】
 - 概要（佐藤圭祐）／ふりだし江戸（佐藤 圭祐）／草加 かつては沼地？（出口 孝次）
 - ／矢吹 田植え歌をめぐる情景（安藤 忠治）
 - ／吉岡宿と『無私の日本人 穀田屋十三郎』（森川 正美）
 - ／松島 政宗が遺した和歌（佐藤 圭祐）
- 【研究ノート】転々とした武四郎の住所（出口 孝次）
- 【コラム】学ぶ会への参加のきっかけと期待することなど（稲垣 良利）
- ・令和5年度 活動記録

13 博物館実習の受け入れ

年 度	件 数	所属・人数等
平成26年度	2	三重大学 1 名、北海道大学 1 名
平成27年度	1	三重大学 2 名、京都精華大学 1 名
平成28年度	1	三重大学 2 名
平成29年度	0	—
平成30年度	0	—
令和元年度	0	—
令和 2 年度	1	皇學館大学 1 名
令和 3 年度	0	(リニューアル工事のため受け入れず)
令和 4 年度	0	—
令和 5 年度	2	皇學館大学 3 名、八洲学園大学 1 名
令和 6 年度	0	—



実習の様子

14 松阪市松浦武四郎記念館運営審議会

松浦武四郎記念館では平成6年の開館以来、運営審議会を年2回開いており、東京松浦家、三重松浦家をはじめ地域の代表や学識経験者のみなさんに、記念館の運営報告や運営予定について審議してもらい、よりよい博物館運営に努めている。



会議の様子

15 松阪市松浦武四郎誕生地整備検討委員会

松阪市指定史跡松浦武四郎誕生地について、平成19年（2007）に整備検討委員会を設置し、学識経験者や地元自治会の代表と保存整備や活用方法について検討した（平成30年3月で終了）。



会議の様子

16 オリジナルグッズ (リニューアルオープン以降販売開始分)



一筆箋 2種
令和4年4月



トートバッグ
令和4年4月



Tシャツ
令和4年4月



マスキングテープ
令和4年4月



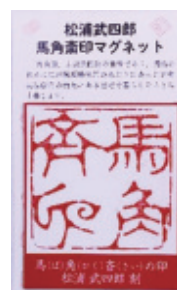
ラバーストラップ
令和4年4月



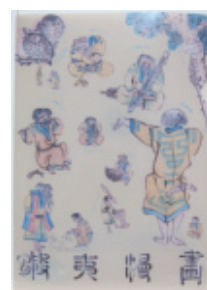
マグネットしおり
令和4年4月



クリアファイル 3種
令和4年9月



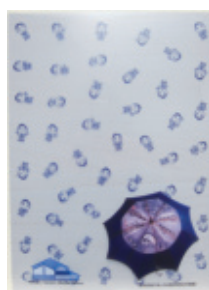
マグネット
令和4年9月



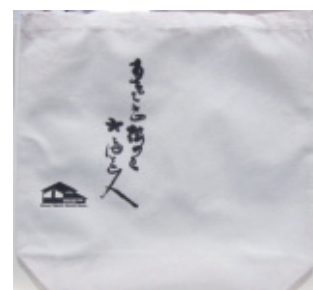
クリアファイル
令和5年4月



トートバッグ
令和5年4月



クリアファイル
令和6年1月



トートバッグ
令和6年4月

※リニューアルオープン以前から販売しているものについては、松浦武四郎記念館（小野江コミュニティセンター）編『開館20年記念誌 松浦武四郎記念館（小野江コミュニティセンター） 20年のあゆみ』（2014年7月発行）参照。

17 刊行物

機関紙 記念館だより「たけしろう」

平成6年（1994）12月に第1号を発行して以来、平成18年（2006）11月に第144号を発行するまで、毎月1回発行し、記念館の展示や行事のお知らせ、武四郎のさまざまな姿を紹介してきた。

※平成18年12月号から休刊。



出版書籍

松浦武四郎記念館が所蔵する資料の紹介や、アイヌ文化を紹介した蝦夷漫画の復刻や武四郎が著した蝦夷地調査に関する記録でまだ活字化されていない原稿について、佐藤貞夫氏の多大なるご協力により、現代でも読むことができるよう出版に努めてきた（以後執筆者の敬称略。書籍の写真を一部掲載）。

平成8年（1996）

2月 『松浦武四郎記念館 図録』



2月 『竹四郎日誌 按西扨従（一）～（三）』

松浦武四郎著／松浦孫太解説／佐藤貞夫編集



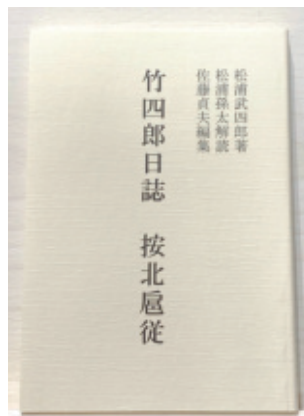
3月 『蝦夷漫画』（復刻版）

松浦武四郎著／佐々木利和解説

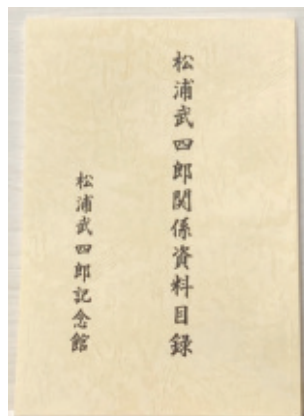
平成9年(1997)

3月 『竹四郎日誌 按北扈從』

松浦武四郎著／松浦孫太解説／佐藤貞夫編集



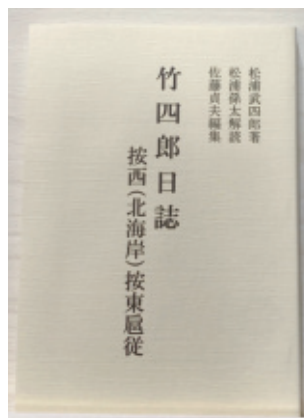
12月 『松浦武四郎関係資料目録』



平成13年（2001）

3月 『竹四郎日誌 按西（北海岸）按東扈從』

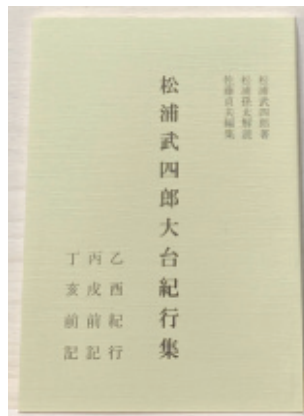
松浦武四郎著／松浦孫太解説／佐藤貞夫編集



平成15年（2003）

3月 『松浦武四郎 大台紀行集』

松浦武四郎著／松浦孫太解説／佐藤貞夫編集



平成16年（2004）

11月 『松浦武四郎関係歴史資料目録』

(国庫補助事業史料調査報告書)

平成19年（2007）

3月 『松浦武四郎 道を歩き、道を作る』 漫画：凜々

平成21年（2009）

3月 『重要文化財 松浦武四郎関係資料』

平成23年（2011）

1月 『壬午遊記』

松浦武四郎著／松浦孫太解説／佐藤貞夫編集



平成24年（2012）

1月 『辛巳紀行』

松浦武四郎著／松浦孫太解説／佐藤貞夫編集



平成25年（2013）

3月 『癸未溟誌』

松浦武四郎著／松浦孫太解説／佐藤貞夫編集



平成26年（2014）

3月 『甲申日記』

松浦武四郎著／松浦孫太解説／佐藤貞夫編集



平成27年（2015）

3月 『己卯記行』

松浦武四郎著/福永昭・唐津巳喜夫・佐藤貞夫解説/佐藤貞夫編集

平成28年（2016）

3月 『庚辰紀行』

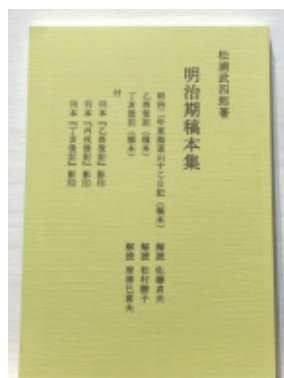
松浦武四郎著/佐藤貞夫解説・編集



平成29年（2017）

3月 『明治期稿本集』

松浦武四郎著



平成30年（2018）

3月 『四国遍路道中雑誌』

松浦武四郎著/武四郎を読む会解説
唐津巳喜夫 佐藤貞夫 出口孝次
松村瞭子 森昌彦 森川正美
/佐藤貞夫編集

11月 『近代初期の松浦武四郎』 小玉道明編集



平成31年（2019）

3月 『鹿角日誌 壺の碑考』

付 奥州名山図譜 影印

松浦武四郎著/佐藤貞夫解説・編集



令和元年（2019）

12月 稿本『東奥沿海日誌』

松浦武四郎著/佐藤貞夫解説・編集



令和4年（2022）

3月 『佐渡日誌』

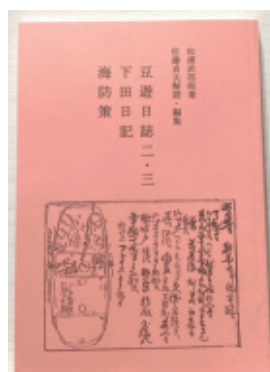
松浦武四郎著/佐藤貞夫解説・編集



令和5年（2023）

3月 『豆遊日誌二・三 下田日誌 海防策』

松浦武四郎著/佐藤貞夫解説・編集



3月 4コマまんが『おーい たけちゃん！』

まんが：いしかわ けいいち/山本命解説



令和6年（2024）

3月 『蝦夷漫画』 松浦武四郎著/佐々木利和解説



18 松浦武四郎誕生地の保存整備

松浦武四郎誕生地の一般公開が平成30年（2018）2月に開始して、今年で7年目を迎える。改めて整備に至る経過を紹介する。

- 平成18年（2006） 5月 史跡地が売却される恐れが生じたため、松阪市が保存に向けた検討開始。
- 6月 市文化財保護審議会が市長へ史跡保護を求める意見書提出。
- 8月 北海道各地の37の歴史団体から史跡の保護を求める要望書が市長・教育長へ届く。
- 9月 史跡地の購入に向けて土地測量や不動産鑑定に係る費用を補正予算に計上。
- 平成19年（2007） 10月 史跡地内既存建物の現状図面作成。
- 11月 松浦武四郎誕生地整備検討委員会発足。
- 12月 土地開発基金を活用し史跡地を先行取得。
- 平成20年（2008） 9月 地域住民を中心に松浦武四郎誕生地保存会が結成される。
- 史跡地の基礎調査を実施。
- 平成21年（2009） 史跡に関する文献資料と周辺状況の調査実施。
- 平成23年（2011） 建物の現状調査実施、損傷状況確認。
- 平成24年（2012） シンポジウムを2回開催、延べ360名以上の市民が参加。
- 平成25年（2013） 史跡地を土地開発基金から買戻し、教育財産とする。武四郎の没後以降に新たに建設された建物を解体撤去。
- 平成26年（2014） 主屋・離れ屋の建物修理に関する設計業務を委託（～27年度）。主屋に隣接する増築部分を調査しながら解体。
- 平成27年（2015） おのえ住民協議会が地域計画を策定、史跡の管理方法等検討。
- 平成28年（2016） 主屋・離れ屋の建物修理（～29年度）。土蔵等の補強や外構・庭園等の整備に関する設計業務を委託。
- 平成29年（2017） 6月 工事の現地説明会を開催。
- 8月 土蔵等の補強や外構等の整備にかかる。
- 11月 市議会に松浦武四郎誕生地条例・同条例施行規則を議案上程。
- 平成30年（2018） 2月 松浦武四郎の生誕200年を記念して松浦武四郎誕生地開館記念式典開催。

参考資料：有限会社伊藤平左エ門建築事務所編『松阪市指定史跡 松浦武四郎誕生地 整備報告書』（松阪市、2019年3月） ※そのほかの詳細については同書を参照。



工事の現場説明会



誕生地の開館式典 カミイノミ（儀礼）



誕生地開館式典 テープカット

19 松浦武四郎誕生地イベント(令和3年度のみ実施)

■ イベント (講師の敬称略。以下同様)

4月4日 花見の会・子ども茶会

講師：保存会・後藤 俊廣(松阪茶道協会)
※新型コロナウイルス感染拡大のため中止。以下同様。

6月6日 高校生の茶文化

講師：飯南高校美術部 ※中止

■ 講座

5月2日 スローライフな生活を考える

講師：森川 茂幸(スローライフ協会事務局) 参加者：10名

6月6日 松阪もめんと風呂敷

講師：山根 清美(ショップラボ) 参加者：10名

7月4日 駄菓子の魅力

講師：吉田 正博(駄菓子のあいや) ※中止

7月17日 松阪木綿にアイヌ文様刺繍をしよう

講師：記念館職員(田島) 参加者：11名

9月5日 桜の話(エゾヤマザクラ)

講師：中村 昌幸(樹木医) ※中止

10月3日 昔話とわらべ歌

講師：中山 一美(JPIC読書アドバイザー) ※中止

11月7日 日本の伝統文化 お茶の心

講師：後藤 俊廣(松阪茶道協会) 参加者：11名

12月5日 冬の養生

講師：平野 千晶(平野薬局) 参加者：10名

2月9日 紙芝居を楽しむ

講師：竹守 伸一(日本お笑い学会) ※中止

■ トーク

6月20日 ここが見どころ誕生地

講師：記念館職員(山本) 参加者：28名

7月18日 北海道の名付け親 武四郎

講師：記念館職員(世古) 参加者：25名

8月22日 大台ヶ原と武四郎

講師：記念館職員(世古) ※中止

11月21日 武四郎と大台ヶ原

講師：記念館職員(世古) 参加者：7名

12月19日 地租改正反対一揆と松浦家

講師：鈴木 えりも 参加者：18名
(松阪市松浦武四郎記念館運営審議会委員)

1月16日 大名の通行と須川村

講師：鈴木 えりも 参加者：12名
(松阪市松浦武四郎記念館運営審議会委員)

■ 体験講座

9月19日 ずばんぼをつくろう

講師：記念館職員(世古) ※中止

10月17日 野帳をつくろう

講師：記念館職員(世古) 参加者：9名



「松阪もめんと風呂敷」の様子



「野帳をつくろう」の様子

20 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい始めた令和2年（2020）からの数年間、ほかの博物館施設と同様に、松浦武四郎記念館・誕生地においても様々な感染拡大予防対策を講じた。令和5年5月8日以降に、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類相当から季節性インフルエンザなどと同じ5類に移行されるまでの期間、松浦武四郎記念館・誕生地で実施した対策の概要については以下の通り。

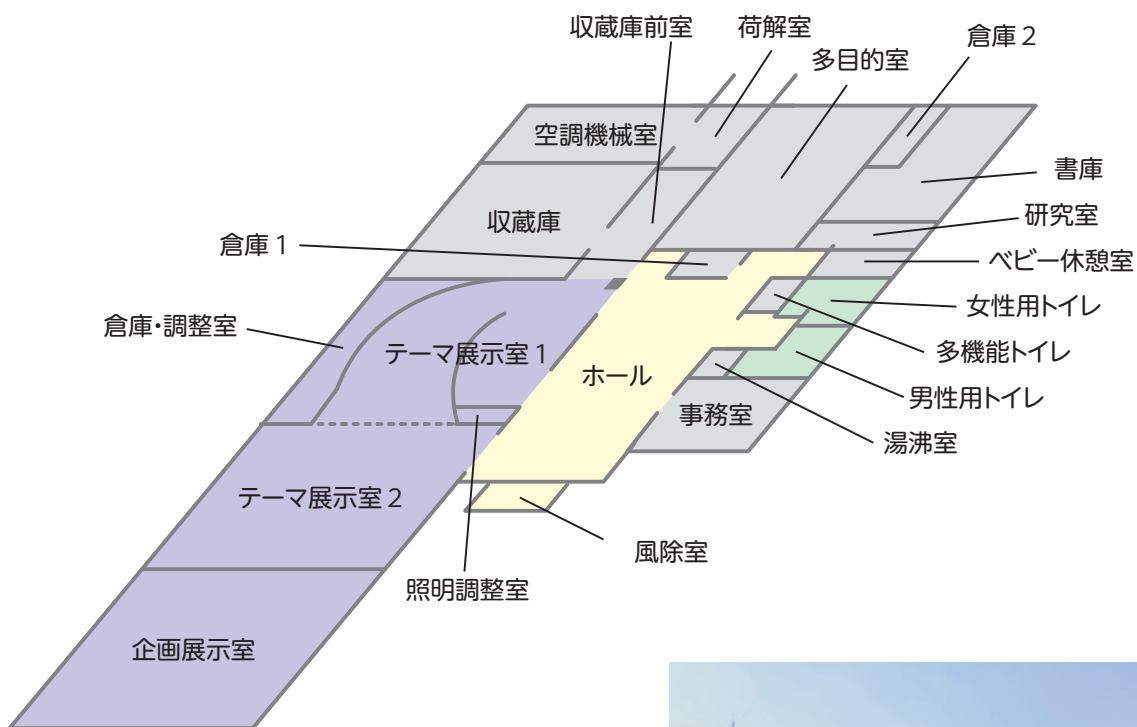
- ・職員のマスク着用と手指消毒の徹底。
- ・来館者に向けて、入館時の手指消毒と検温の周知。
- ・施設内において、展示室やトイレなど来館者が使用するスペースをこまめに除菌。
- ・数十人を超える団体見学の来館者について、2つ以上のグループに分散してもらい複数の学芸員が展示案内を実施。
- ・令和2年度の7～3月の月ごとに開催した第151～157回武四郎講座の会場については、参加者と講師およびスタッフ職員相互の感染リスクを少しでも減らすべく、通例の松浦武四郎記念館（当時は小野江コミュニティセンターと併設）の会議室（現在の多目的室。床面積70.00㎡）ではなく、より広いイベントスペースを持つ市内近隣の公共施設として、松阪市嬉野生涯学習センターの研修室1・2（間仕切りを外した場合の合計床面積は109.257㎡）で実施した。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大のなかで令和2年（2020）5月から北海道博物館が始めた、博物館資料について自宅で楽しく学べるアイデアをオンラインで公開する取り組み「おうちミュージアム」に参加。
- ・関連広報物の掲示。



感染対策を呼びかける啓発物の数々

21 リニューアル

平成6年（1994）3月に竣工した松浦武四郎記念館は、老朽化した設備や常設展示スペースのリニューアルのため、令和2年（2020）から改修工事の設計を行い、翌年4月に小野江コミュニティセンターが分離して記念館が単独の施設となった直後の同年5月にリニューアル工事を開始した。そして、令和4年（2022）4月24日にリニューアルオープンした。



松浦武四郎記念館 外観

所在地 三重県松阪市小野江町383番地
敷地面積 3385.34㎡
建築面積 913.28㎡
延床面積 850.00㎡
建物構造 鉄筋コンクリート造 平屋建て

各室面積	テーマ展示室1	120.00㎡（倉庫・調整室等を含む）	企画展示室	102.00㎡
	テーマ展示室2	150.00㎡	空調機械室	36.00㎡
	収蔵庫	72.00㎡	荷解室	11.10㎡
	収蔵庫前室	24.90㎡（旧研究室）		
	事務室	30.00㎡		
	湯沸室	4.55㎡（旧事務室倉庫）		
	多目的室	70.00㎡（旧会議室）	ベビー休憩室	9.20㎡（旧和室）
	研究室	12.41㎡（旧和室）	書庫	39.00㎡（旧和室）
	ホール	101.50㎡		
	倉庫1	6.00㎡	倉庫2	7.40㎡
	トイレその他	53.94㎡（旧湯沸室を含む）		

駐車台数 乗用車58台（思いやり駐車区画2台、車いす利用者駐車区画2台を含む）

設 計 基本設計・実施設計（令和2年度） 株式会社 トータルメディア開発研究所

施 工 等 内部・外構改修（令和3年度） 有限会社 伊藤工務店
※文化庁国宝重要文化財等防災施設整備事業（収蔵庫扉取替、収蔵庫ガス消火設備、排煙設備改修が対象）
内部・外構改修工事監理（令和3年度） 株式会社 トータルメディア開発研究所
展示リニューアル（令和3年度） 株式会社 トータルメディア開発研究所
※内閣府アイヌ政策推進交付金 交付事業（アイヌの人々に関する部分対象）
一畳敷原寸模型製作（令和3年度） 株式会社 佐藤秀
同製作監修（令和3年度） 学校法人 国際基督教大学
駐車場東屋設置（令和3年度） 三創建設有限会社
※みえ森と緑の県民税市町交付金 交付事業
大首飾り複製修理（令和3年度） ぬなかわヒスイ工房

協 力 工事中の収蔵資料保管 三重県総合博物館
(敬称略) 松阪市文化財センター
工事中の書籍等保管 同センター 嬉野整理所
工事中の備品等保管 松阪市中郷公民館
松阪市三雲北幼稚園

1. 展示室

テーマ展示室1

リニューアル前は、映写室と企画展示室だった空間を改装した。ホールから展示室に入ると、まず等身大の武四郎像が来館者を迎え、原寸模型で細部に至るまで完全再現した武四郎の書斎「一畳敷」（東京都三鷹市の国際基督教大学構内に現存）が現れる。



映像でわかりやすく魅力を紹介

映像の向かい側は年表になっており、武四郎の生涯を詳しく表すとともに、イラストを交えて、子どもでもわかりやすいように工夫した。

また、映像の隣には、吉田松陰など武四郎と同じ時代を生きた人物や、司馬遼太郎など現代の著名人が武四郎について語った際の言葉を紹介している。



一畳敷の原寸模型

一畳敷原寸模型の向かい側には、武四郎の偉業をたくさんの数字で紹介しており、いったいこの人は何者なのか、と興味を持ってもらい、その先の展示を見てみたくなるようにした。

さらに進むと、曲線を描く壁面に2台のプロジェクターで、武四郎の魅力を迫力ある映像で紹介している。

テーマ展示室2

リニューアル前は、展示パネルが並び、円形の形をした映像コーナーがあったところを、武四郎の多彩な功績を伝えるコーナーにした。

武四郎は、沖縄以外の日本全国を歩いた「旅の達人」であるとともに、幅広い人脈を築いた「交流の達人」、絵が得意な「描写の達人」、記録し本を出版した「伝える達人」、さらには古い物をコレクションした「蒐集の達人」でもあった。

そして、蝦夷地（今の北海道）を6回も探検してアイヌの人々と交流し、アイヌ文化を本州の人々に伝えた人であったことを、資料写真をメインとしたグラフィックで紹介している。

また、武四郎が出版した北海道の詳細な地図を、1億画素のデジタルカメラで撮影したグラフィックは、約9,800に上るアイヌ語の地名を1つ1つ確かめられるほか、6回の蝦夷地調査の足跡や、蝦夷漫画の全ページを見ることができ、武四郎の多彩な活動・功績を紹介している。



さまざまな「達人」であった武四郎の姿を紹介

企画展示室



1,505点にのぼる重要文化財を2ヶ月ごとに展示

リニューアル前に実物資料を展示していたスペースは、ケース内の照明をLEDに変えた。ここでは、重要文化財に指定された資料を2か月ごとにさまざまなテーマで展示し、グラフィックだけでなく本物の資料から、武四郎のすごさが感じられる。

2. 利便性の向上

建物入り口のスロープと階段の両側に手すりを付け、玄関には点字ブロックやインターホンを設けるなどバリアフリーに配慮した。

ホールは、今まで受付窓口で来館者への対応を行っていたが、カウンターを設置して入館券の発行や、オリジナルグッズの販売、質問や相談ができるほか、車いすの方へも配慮している。



学習スペースのあるホール



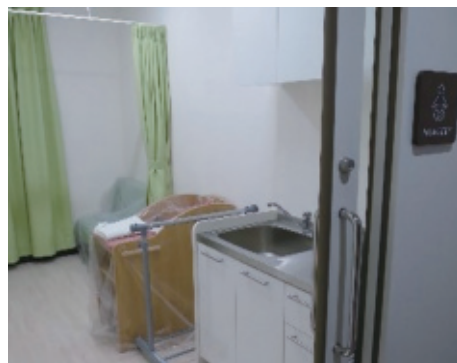
バリアフリーに対応した玄関

また、全国を旅した武四郎の各都道府県における足跡を二次元コードで紹介したパネルや、三重県から北海道を目指すすごろく冒険クイズ、記念館で所蔵している資料を検索できるパソコンを設置し、展示を見るだけでなく、来館者が関心を持ったことを調べることができるよう学びのスペースも設けた。

トイレは、今まで段差があり、和式中心で狭かった個室を、段差をなくし、洋式にした。また、多機能トイレにはオストメイトも設置している。

これまで、和室だった場所には、授乳やおむつ替えができるベビー休憩室を設け、小さなお子様連れの方でも安心して来館できる。

会議室は多目的室と名前を変えて模様替えし、75インチの液晶ディスプレイで武四郎に関する映像が見られるほか、講座やワークショップを開催したり、壁面に設けたピクチャーレールでパネルなどを展示したりするなど、フレキシブルに活用できるようにした（隣接する小野江公民館が貸館利用出来るため、多目的室の一般への貸し出しは行わない）。



ベビー休憩室

3. 博物館機能の強化

開館以来、公民館との複合施設であった記念館だったが、記念館の北側に新たに小野江公民館が建設・開館したことで、博物館単独の施設となり、博物館としての機能強化にも取り組んだ。

まず、これまであった和室を書庫に改装し、開館以来集まった膨大な書籍を収納し、有効に活用できるよう整理したほか、書庫に隣接して研究室を新たに設けた。



書庫



収蔵庫に設置した止水扉

つづいて、重要文化財などの貴重な資料を保管する収蔵庫については、万一火災が発生した際に備えてガスによる消火設備を導入した。

さらに、近くを流れる雲出川が氾濫した場合、最大3mの浸水が想定されるため、水害からも資料を守ることが出来るよう、3mの浸水があっても収蔵庫の扉が変形せず、庫内への水の流入をわずかにとどめる特殊な止水扉に取り替えた。

このほかに、展示室の排煙設備も新たに改修した。

22 開館30年記念トークイベント

第1回 記念館が出来るまで

日 時：令和6年（2024）7月14日（日）午前10時から11時30分

ゲ ス ト：北川 雅樹さん（当時は三雲町役場の職員で記念館の建設を担当）

宇野 文男さん（当時は国立民族学博物館の職員で松浦武四郎記念館の設立に尽力）

司会進行：山本 命 （当館 館長）

（要旨）

第1回は記念館が開館するまでの、ゲストお二人の思い出を紹介した。

北川さんからは、①昭和35年（1960）に金田一京助博士が三重県で講演をする際、小野江松浦家の訪問を希望され、誕生地で武四郎の資料を見て、重要文化財に指定されるぐらい価値があると言われたことが、資料の保存と公開に向けて動き出すことにつながったのではないかとことや、②小野江松浦家から自分が町職員として信頼されるようになり、武四郎のことで何かあると呼び出されたこと、③大台ヶ原にある武四郎の歯を埋めたとされる分骨碑が倒壊し、昭和40年（1965）に三雲村の宇野誠一村長が碑の再建を決めた際、式典に必要な供物を大台ヶ原まで運んだこと、④昭和52年（1977）に教育委員会へ異動し、昭和40年（1965）の分骨碑再建から続く三雲中学校の大台ヶ原登山に関わってきたこと、⑤昭和63年（1988）から2か年事業で国庫補助事業の資料調査を行ったこと、⑥記念館の建設に際し、なぜ松浦家の個人の博物館を町が作らなければならないのか、という反対意見もあったことなど、当時の思い出を語ってもらった。

宇野さんからは、①国立民族学博物館に勤務していた平成5年（1993）に、国際先住民年に合わせて開催した「アイヌモシリ」展で、小野江松浦家からアイヌ民族資料12点を借用したことをきっかけに、記念館の設立に地元出身者として関わるようになり、開館後は事業運営に協力したことや、②東京国立博物館の佐々木利和さんと記念館の展示指導にあたった思い出のほか、③記念館の設立にあたっては紆余曲折あったが、今から振り返ると、30年以上の年月をかけて、市民の理解が得られる博物館へと記念館がいかに成長したか、また市民の方々の協力・支援の有難みを感じていることを語ってもらった。

トークの最後にはお二人から、記念館が今後とも市民の理解が得られ、地域に根付いた博物館であってほしい、これからはもっと若い世代に盛り上げてもらえれば、という願いを述べてもらった。

司会を務めた館長は、記念館は多くの方のみなさんの努力と協力の上に成り立っている博物館であり、開館までに様々な苦勞があったことをこれからも忘れないようにしていきたいと締めくくった。



第2回 開館から30年の歩み

日時：令和6年（2024）8月11日（日）午前10時から11時30分

ゲスト：佐々木利和さん（北海道大学名誉教授）

高瀬 英雄さん（松浦武四郎記念館 元館長）

司会進行：山本 命 （松浦武四郎記念館 館長）

（要旨）

開館から30年間にあった様々な出来事を、市民とともに振り返ることを目的に開催された。

開館記念式典について、出席した佐々木さんの記憶によると、当時の北海道ウタリ協会の野村義一理事長が、アイヌ民族の正装で式典に出席したことが当時道外では初めてのことで、佐々木さんを含む人々の心に強く印象に残った。また武四郎まつりにアイヌの方々を招待したことは、アイヌ文化を三重県の人々に紹介するという点で大変大きな役割を果たしたといえる。開館初期に関わった展示企画・設営については、比較的小さな博物館だからこそ、多くの方に何度も足を運んで感動を味わってもらえるように、展示資料を頻繁に入れ替えること、来館者を飽きさせない工夫を凝らすことを念頭に置いていたと振り返った。

平成17年度から平成20年度まで館長を務めた高瀬さんは、館長就任を打診された当時、一度は話を断った。それは新制松阪市が誕生してから初めて新しく着任する館長ということで、旧制松阪市出身の自分ではなく、旧三雲町出身の人物が適任ではないかと考えたためだった。結果、合併したからこそ地域にこだわらずに適任者をあてるべきだとする当時の松阪市教育委員会の意向を受けて、高瀬さんは館長に就任した。松浦武四郎記念館が歩んだ30年間を振り返ったとき、それはいわば無から有を、不可能を可能にした挑戦の日々であったとし、すなわち松浦武四郎という全国的な知名度があまりなかったひとを、職員たちがチャンスを生み続け、またそのチャンスをつかみ取ることで松浦武四郎の存在を世に広く紹介したのが松浦武四郎記念館であるとし、山本館長はじめ記念館職員へのエールとした。またそうした記念館の姿勢の土台は、同じくゲストの佐々木さんと、前回の記念トークのゲストの北川さんと宇野さんのその三者によって形成されたものであるとした。なお、高瀬さん自身が館長であった際に強く印象に残った出来事として、松浦武四郎生誕200年を前に、市民の意識醸成のために、生誕190年の記念事業をすべきだと当時の山本学芸員（現館長）が口にしたことを挙げて、当時を振り返った。



第3回 記念館の未来に向けて

日 時：令和6年（2024）9月8日（日）午前10時から11時30分

聞き手：宇野 文男さん（当時は国立民族学博物館の職員で記念館の設立に尽力）

話し手：世古 詩央里（当館学芸員）

佐藤 圭祐（当館学芸員）

山本 命（当館館長）

（要旨）

記念トークの第3回は学芸員と館長が宇野さんの質問に答える形で自身のこれまでの取り組みや記念館の未来などを語った。

- ① **着任当初の印象は？** 【世古】生誕200年記念事業の1年前となる平成29年（2017）に着任。職員数（当時4名）が少ないと感じた。【佐藤】採用試験を経て令和4年（2022）に3代目学芸員に着任。記念館は特に地域の方々の協力で成り立っている部分が大きいと感じた。【山本】採用試験を経て旧三雲町時代の平成13年（2001）に2代目学芸員に着任。当時は記念館と武四郎の知名度が低く、とにかく周知に努めた。
- ② **記念館のリニューアルでは何をしたか？** 【世古】図書の移動や、展示グラフィックの写真準備に従事。博物館資料は三重県総合博物館の収蔵庫で預かってもらい、同館で高知県立坂本龍馬記念館への貸し出しにも従事した。【佐藤】着任はリニューアルオープンの直前。リニューアル後に立ち上がった研究ワークショップ「武四郎に学ぶ会」の企画運営を担当。【山本】建築部分と展示部分の両方で中心となって関わった。業者との打ち合わせはコロナ禍の影響によりリモートで実施したが、議論を深めることが難しかった。最後の方は展示グラフィックの原稿に追われていた。
- ③ **今後の抱負は？** 【世古】資料整理に携わる中で、子孫が武四郎の顕彰に取り組んできた様子が分かってきた。記念館のこれからの関わることであり、考え続ける必要があると感じた。現在はデジタルアーカイブの充実に取り組んでいる。インターネットを通じてどこからでも見てもらえるよう、どんどん公開していきたい。【佐藤】思想家の内田樹さんが、今後も地域の持続を図るためには、歩哨のような役割と使命感を持つひとを確保できるとよいといったことを著書に記していた。思えば武四郎も幕末明治期において、失われつつある日本列島各地の文化を記録し、窮状を訴え、時には活動した。私はここ松阪市の北端で耳目を養いながら移り変わる地域の様子を記録し、また博物館資料を含めてメンテナンスを続けて未来へ伝えたい。その一環として武四郎の西行信仰などについて研究を続ける。【山本】若手学芸員が活躍出来るように育成することで、博物館活動の充実に繋げたい。
- ④ **参加者との意見交換** 伊勢中川駅からのアクセスの改善、出前講座の要望、様々な研修の機会に来館してもらうこと、英語でホームページを充実させ世界へ発信すること、未来に向けて品格のある記念館であることなどを求める声があがった。

最後に山本館長から、100年先へ博物館資料を伝えることはもちろん、記念館の活動を充実させて、観光や産業、地域課題の解決に貢献出来るように頑張りたいとの決意表明があり、3回の連続トークイベントを終了した。

23 歴代職員

館 長

平成6年7月3日～平成13年5月31日	鈴木 恒雄
平成13年7月1日～平成14年3月31日	(館長不在)
平成14年4月1日～平成16年12月31日	川瀬 孜 ※三雲町教育委員会教育長兼務
平成17年1月1日～平成17年3月31日	仲村 隆彦 ※松阪市教育委員会教育次長兼務
平成17年4月1日～平成21年3月31日	高瀬 英雄
平成21年4月1日～平成22年3月31日	中西 明
平成22年4月1日～平成24年3月31日	宮本 正道
平成24年4月1日～平成31年3月31日	中野 恭
平成31年4月1日～令和4年3月31日	多賀 幸子
令和4年4月1日～現 職	山本 命

学芸員

平成6年7月3日～平成13年3月31日	武馬 利江
平成13年4月1日～令和4年3月31日	山本 命 ※平成27年4月1日から主任学芸員
令和4年4月1日～現 職	佐藤 圭祐

学芸員(会計年度任用職員)

平成28年4月1日～現 職	世古 詩央里
---------------	--------

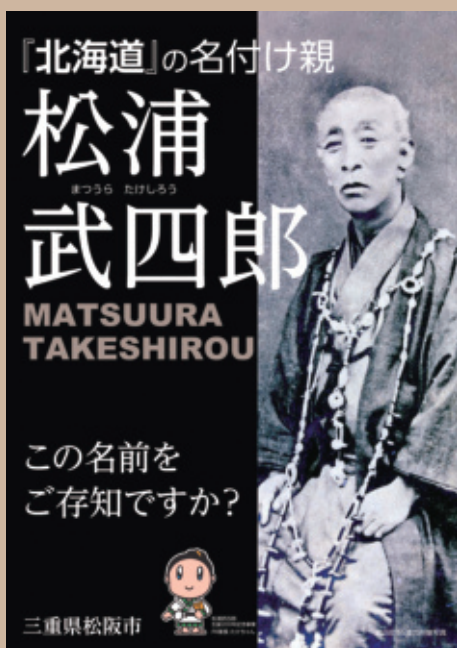
事務職員(会計年度任用職員)

平成13年6月1日～現 職	田島 映子
令和4年4月1日～現 職	光山 悠加
令和6年12月1日～現 職	山口 さおり

公民館主事(小野江コミュニティセンター併設期)

平成6年7月3日～平成20年3月21日	枝川 ひとみ
平成20年3月22日～令和3年3月31日	齋藤 佳代子 ※令和3年4月からは松阪市小野江公民館で勤務

松浦武四郎生誕200年記念事業



松浦武四郎生誕200年記念事業
PRのチラシやリーフレットの数々

24 松浦武四郎生誕200年記念事業

平成30年（2018）は、武四郎が生誕から200年を迎えるメモリアルイヤーであるとともに、武四郎の提案に基づき蝦夷地が北海道に改称されてから150年目の節目を迎え、武四郎を全国に発信する絶好の機会であったことから、出身地の三重県をはじめ、ゆかりの深い北海道や、東京の静嘉堂文庫、国際基督教大学などと連携・協力し、武四郎に関する様々な取り組みを行った。

記念事業では、生誕200年が武四郎を全国に発信する元年と位置付け、全国の人びとに知っていただくことで、松阪市の文化のみならず、教育・観光・産業・まちづくりにおける取り組みへとつなげ、地域へ誇りや愛着を感じていただき、個性あふれる地域づくりや、活力ある産業の育成、輝く子どもたちを育てるとともに、北海道と非常にゆかりの深い武四郎を生かし、北海道との交流を深めることで、地域の活性化に寄与した観光の振興を図ることに取り組んだ。

記念事業を進めるにあたり、市民で構成される実行委員会を組織し、松阪市、三重県、北海道などと連携をはかり、多くの人びとの協力のもとに、以下の4つの目標を掲げて事業を展開した。

- ①個性あふれる地域づくり
- ②心豊かな人づくり
- ③武四郎の知名度アップ
- ④地域産業の振興

実施期間 平成30年（2018）2月 から 平成31年（2019）2月 まで
 ※1818年2月6日に生まれ、1888年2月10日に亡くなったため
 生誕から200年 → 松浦武四郎生誕200年記念事業（松阪市）
 北海道命名から150年目 → 北海道150年事業（北海道）



記念事業PR隊長
たけちゃん

主な取り組み

平成30年（2018）			
2月	24日（土）	記念事業オープニングイベント	500人参加
	25日（日）	松浦武四郎誕生地開館記念式典	100人参加
		第23回 武四郎まつり（主催：武四郎まつり実行委員会）	6,400人来場
3月	11日（日）	記念講座 第1回「四国遍路道中雑誌」を読む	50人参加
4月	8日（日）	記念講座 第2回 松浦武四郎はまちがいなく「松坂」人です	55人参加
5月	13日（日）	記念講座 第3回 松浦武四郎の生涯	66人参加
6月	10日（日）	記念講座 第4回 武四郎のふるさと小野江	59人参加
	25日～28日	記念事業使節団が北海道を訪問	25人参加
7月	8日（日）	記念講座 第5回 大杉谷と武四郎	47人参加
8月	12日（日）	記念講座 第6回 武四郎が生きた時代	67人参加
9月	1日（土）	劇団わらび座ミュージカル「松浦武四郎」	960人参加
	9日（日）	記念講座 第7回 誕生地お座敷トーク①	49人参加
10月	6日（土）	松浦武四郎生誕二百年記念シンポジウム	250人来場
	13日（土）	松浦武四郎フォーラム	900人来場
	27日～28日	まちをあそぶー武四郎さんを探せ	92人参加
	29日（月）	武四郎の足跡を訪ねる大台ヶ原バスハイク	25人参加
11月	11日（日）	記念講座 第8回 誕生地お座敷トーク②	90人参加
12月	9日（日）	記念講座 第9回 誕生地お座敷トーク③	68人参加
平成31年（2019）			
1月	13日（日）	記念講座 第10回 誕生地お座敷トーク④	81名参加
2月	10日（日）	記念講座 第11回 近代初期の松浦武四郎	64名参加
	24日（日）	第24回 武四郎まつり（主催：武四郎まつり実行委員会）	6,000人来場

松浦武四郎生誕200年記念事業 オープニングイベント

平成30年（2018）2月24日（土）13：30～16：00

農業屋コミュニティ文化センター 来場者500人

主催：松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会 共催：松阪市

1. アイヌ古式舞踊（国指定重要無形民俗文化財・ユネスコ無形文化遺産登録）

静内民族文化保存会（北海道新ひだか町）

2. 開会宣言

小林 壽一（松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会 委員長）

主催者あいさつ

竹上 真人（松阪市長）

来賓祝辞

窪田 毅（北海道 副知事）

加藤 忠（公益社団法人 北海道アイヌ協会 理事長）

加藤 剛士（テッシ・オ・ペツ賑わい創出協議会 会長・名寄市長）

鈴木 英敬（三重県知事）

山本 芳敬（松阪市議会 議長）

3. 子孫への花束贈呈と武四郎さんへのメッセージ

松阪市立小野江小学校 6年生 花束贈呈：岡嶋 心・北川 大智

メッセージ：奥田 絢音

松浦武四郎直系の子孫 松浦 一雄

松浦武四郎実家の子孫 松浦 とも

4. 劇「時を超えた奇跡の旅人～松浦武四郎」 劇団松阪ドラマシティ

5. トークセッション「武四郎の道は未来へとつづく」

宇梶 静江（アイヌ文化伝承・人権普及活動家）

宇梶 剛士（俳優）

6. 合唱 松阪少年少女合唱団

（指揮：谷口智世 ピアニスト：中西美晴）

①未来につなげ～記念日に歌う歌

②前へ！

③勇気100%

7. 記念事業紹介

松浦武四郎生誕200年記念事業 PR隊長 たけちゃん



アイヌ古式舞踊

アイヌ民族の英雄シャクシャインのふるさと北海道新ひだか町からお招きした静内民族文化保存会のみなさんが、国指定重要無形民俗文化財に指定され、ユネスコの世界無形文化遺産に登録されたアイヌ民族に伝わる踊りを披露してもらい、武四郎とアイヌ民族の交流を偲んだ。

来賓あいさつ



武四郎の子孫への花束贈呈とメッセージ

武四郎のふるさと松阪市立小野江小学校6年生の岡嶋心さんと北川大智さんには、武四郎直系のご子孫の松浦一雄さんと実家のご子孫の松浦ともさんに花束を贈呈し、奥田絢音さんが生誕200年を迎えた武四郎へのメッセージを読み上げた。



劇「時を越えた奇跡の旅人～松浦武四郎」

劇団松阪ドラマシティのみなさんが武四郎の生涯や魅力を劇でわかりやすく紹介した。

トークセッション「武四郎の道は未来へとつづく」

俳優の宇梶剛士さんと母の静江さん親子による、トークセッションでは、聞き手に司会を務めてもらったフリーアナウンサーの山上和美美さんと、松浦武四郎記念館の高瀬英雄元館長を交えて、今アイヌ民族にとって武四郎はどんな存在であるかをお話してもらった。



合 唱

オープニングイベントの最後を締めくくる合唱では、松阪少年少女合唱団のみなさんが、記念事業のスタートにふさわしい「未来につなげ～記念日に歌う歌～」、「前へ!」、「勇気100%」の3曲を合唱した。

松浦武四郎誕生地 開館記念式典

平成30年（2018）2月25日（日）9：30～10：10

松浦武四郎誕生地 出席者100人

主催：松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会

1. 開式

2. あいさつ

竹上 真人（松阪市長）

3. テープカット

松浦 とも（松浦武四郎実家子孫）

窪田 毅（北海道 副知事）

大川 勝（静内民族文化保存会 会長）

駒田 健吾（松浦武四郎誕生地保存会 会長）

竹上 真人（松阪市長）

小林 壽一（松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会 委員長）

4. カムイノミ（アイヌ民族の祈りの儀礼）

静内民族文化保存会

タプカル（アイヌ民族の祓いの儀礼）

5. 閉式

オープニングイベントの翌日は、第23回武四郎まつりの開会前に、武四郎の生涯を語る上で欠くことのできない場所として市指定史跡松浦武四郎誕生地の開館記念式典を開催した。



テープカットの後、誕生地の広場では、静内民族文化保存会のみなさんによって、アイヌ民族の神への祈りを捧げる儀礼「カムイノミ」と、アイヌ民族のお祓いの儀礼である「タプカル」を行ってもらい、この日からオープンする誕生地の安全を祈願した。

第23回武四郎まつり

平成30年（2018）2月25日（日）10：30～16：00

松浦武四郎記念館・松浦武四郎誕生地 来場者6,400人

主催：武四郎まつり実行委員会 共催：松阪市



誕生地の開館記念式典の後、松浦武四郎記念館では、「第23回 武四郎まつり」（武四郎まつり実行委員会主催）も開催され、過去最高となる6,400人の方が来場し、北海道からの出展もあり、多くの来場者で賑わった。

松阪競輪「松浦武四郎生誕二百年記念競輪」

平成30年（2018）3月26日（月）～28日（水）

松阪競輪場 主催：松阪市

最終日の最終レースで1着となった成田和也選手に、松浦武四郎記念館の中野館長から表彰状を、記念事業実行委員会の小林委員長からは花束が贈られた。



武四郎の足跡を紹介する案内板の除幕式



平成30年（2018）4月10日（火）

三重県大台町大杉谷 主催：大台町

明治19年（1886）に大杉谷を訪れた武四郎を紹介する案内板の除幕式が行われ、記念事業実行委員会から小林委員長が出席し、祝辞を述べた。

実行委員会からは大台町の大森正信町長および大杉谷の村田稔区長へ武四郎が描いた大杉谷の絵をパネルに入れたものを記念品として贈呈した。

『がいなもん 松浦武四郎一代』の出版を記念したそば打ちの実演とふるまい

平成30年（2018）6月17日（日） 13：30～15：30

松浦武四郎誕生地 参加者150人

主催：松浦武四郎誕生地保存会

歴史作家の河治和香さんが、小学館から『がいなもん 松浦武四郎一代』を出版されたことを記念して、松浦武四郎誕生地において、河治さんから竹上真人松阪市長へ本が贈呈されたほか、駒形どぜう六代目の渡辺孝之さんにそば打ちの実演と、打ちたてのそばを集まったみなさんにふるまってもらった。



生誕200年を記念した北海道への使節団

平成30年（2018）6月25日（月）～29日（金） 4泊5日

主催：松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会



生誕200年を記念して、記念事業実行委員会の小林委員長を団長とする25名の使節団のみなさんが、北海道紋別市、滝上町、斜里町、別海町、根室市などを訪問し、しょこつ川連携研究会のみなさんとの交流や、北方領土である多楽島の元島民のみなさんと交流した。

交流会では、紋別市の宮川市長、滝上町の長屋町長に、松阪市の竹上市長から預かった親書が手渡されたほか、記念として武四郎の北海道図の複製をパネルに入れたものを贈呈した。

使節団の記念文集は松浦武四郎記念館のホームページで公開している。

特別展「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎～見る、集める、伝える～」

平成30年（2018）6月30日（土）～8月26日（日）

北海道博物館（北海道札幌市）

主催：北海道博物館、三重県総合博物館、北海道立帯広美術館 協力：松阪市



開会式に竹上真人松阪市長が出席し、松阪市の観光PRを行った。ほか、「武四郎の道は未来へと続く」と題して松浦武四郎記念館の山本命主任学芸員が講演した。

北海道150年事業による北海道の子どもたちの松阪訪問

平成30年（2018）7月29日（日）～31日（火）

主催：北海道150年事業実行委員会

道内各地の50人（小中学生30人、引率20人）のみなさんが松阪を訪問し、松阪市立小野江小学校のみなさんと交流し、松浦武四郎記念館や松浦武四郎誕生地を見学して武四郎について学んだほか、松阪市内の各所をグループに分かれて見学した。

北海道弟子屈町との相互交流による子どもたちの弟子屈町訪問

平成30年（2018）8月27日（月）～29日（水）

主催：松阪市教育委員会・弟子屈町教育委員会

松阪市立小野江小学校から5人（児童2人、引率3人）のみなさんが北海道弟子屈町を訪問し、町内の小学生のみなさんと交流した。

劇団わらび座ミュージカル「松浦武四郎～カイ・大地との約束～」

平成30年（2018）9月1日（土） 15：00～16：30

クラギ文化ホール 来場者960人

主催：松阪市

劇団わらび座によるミュージカルを松阪でも開催し、ミュージカルを通して武四郎の魅力をみなさんに感じてもらった。

北海道や東京など全国各地でも上演され、たくさんの方に武四郎の存在を知ってもらう機会となった。



特別展「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎～見る、集める、伝える～」

平成30年（2018）9月11日（土）～11月11日（日）

三重県総合博物館（三重県津市）

主催：北海道博物館、三重県総合博物館、北海道立帯広美術館 協力：松阪市

開会式には記念事業のPR隊長たけちゃんと、生誕200年広報大使の川村ゆきえさんも出席し、テープカットが行われた。

最終日には、三重県総合博物館の太田光俊学芸員、北海道博物館の三浦泰之学芸主幹、松浦武四郎記念館の山本主任学芸員による鼎談も行われ、多くの方が展示に携わった3人の学芸員の話に耳を傾けた。



松浦武四郎生誕200年記念特別展「ICUに残る一畳敷」

平成30年（2018）9月11日（土）～11月9日（金）

国際基督教大学博物館 湯浅八郎記念館（東京都三鷹市）

主催：国際基督教大学博物館 湯浅八郎記念館

国際基督教大学には、武四郎が晩年に建てた一畳敷の書斎が遺されており、展示では一畳敷を忠実に再現した原寸大のレプリカが置かれ、普段見ることができない一畳敷の世界が紹介された。

また、大学図書館内にある歴史資料室においても特別展「パイオニアたれ一松浦武四郎と明治知識人の系譜」を開催された（10月6日から令和元年6月14日まで）。



国際基督教大学博物館 湯浅八郎記念館
〒158-8501 東京都三鷹市 五反田 1-1-1
TEL 03-5452-1111 FAX 03-5452-1112
http://www.icu.ac.jp/museum/ TEL 03-5452-1111
FAX 03-5452-1112
E-mail: museum@icu.ac.jp
Instagram: @icu_museum
Twitter: @icu_museum
Facebook: ICU Museum
YouTube: ICU Museum

松浦武四郎誕生地で月見の会

平成30年（2018）9月22日（土） 19:00～20:30

松浦武四郎誕生地 来場者100人

主催：光れ街道夢おこしの会 共催：松浦武四郎誕生地保存会



光れ街道・夢おこしの会のみなさんが、松浦武四郎誕生地保存会のみなさんと協力して、月見の会を開催され、月明かりに照らされながら、落語家で津市議会議員の桂三発さんによる創作落語「松浦武四郎」が初披露された。

生誕200年記念「幕末の北方探検家 松浦武四郎」展

平成30年（2018）9月24日（月）～12月9日（日）

静嘉堂文庫美術館（東京都世田谷区）

主催：静嘉堂文庫美術館

松浦武四郎が収集した古物を900点以上収める静嘉堂文庫でも武四郎の生誕200年を記念した展示を開催してもらい、武四郎の肖像写真でもおなじみの大首飾りの実物が初公開された。



松浦武四郎研究成果報告会「武四郎研究の最前線 2018」

平成30年（2018）9月29日（土）

三重県男女共同参画センター 参加者200人

主催：三重県生涯学習センター

國學院大學の内川隆志教授を中心とする研究グループのみなさんが、日本学術振興会の科学研究費による助成を受けて武四郎の古物収集に関する研究を行っており、最新の武四郎研究の成果を報告した。



松浦武四郎生誕二百年記念シンポジウム「一畳敷の世界を探究する」

平成30年（2018）10月6日（土）

国際基督教大学（東京都三鷹市） 来場者250人

主催：国際基督教大学 共催：松阪市

武四郎の一畳敷書斎がある国際基督教大学を会場に、一畳敷の書斎を研究したコロンビア大学名誉教授



リアム・スティール名誉教授や北海道博物館の三浦泰之学芸主幹、松浦武四郎記念館の山本主任学芸員によるパネルディスカッションなどが行われた。

松浦武四郎フォーラム

平成30年（2018）10月13日（日） 13：30～17：00

クラギ文化ホール 来場者900人

主催：松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会 共催：松阪市

1. 開催によせて「武四郎の道は未来へ、そして世界へと続く」

富岡 徹郎（国際基督教大学 常務理事）

佐々木利和（北海道大学 客員教授）

竹上 真人（松阪市長）

2. 基調講演「未来から来た人」

高橋源一郎（明治学院大学 教授）

3. 子どもたちによる取り組み

- ・小中学生による武四郎への手紙の朗読
- ・小中学校による武四郎研究の学習発表
 - 松阪市立鵜小学校6年生
 - 三重中学校（学校法人 三重高等学校）
- ・武四郎の紙芝居の紹介
 - 三重県立松阪工業高校繊維デザイン科



4. トークセッション「知れば知るほど武四郎が識りたくなる」

ヘンリー・スミス（コロンビア大学 名誉教授）

高橋源一郎（明治学院大学 教授）

佐々木利和（北海道大学 客員教授）

山本 命（松浦武四郎記念館 主任学芸員）

コーディネーター：岸 俊光（毎日新聞オピニオングループ部長委員）

開催によせて「武四郎の道は未来へ、そして世界へと続く」



松阪市の竹上真人市長、国際基督教大学の富岡徹郎常務理事、北海道大学の佐々木利和客員教授の3人によるトークでスタート。竹上真人市長は、武四郎が身に着けていた大首飾りのレプリカ完成のお披露目をした。

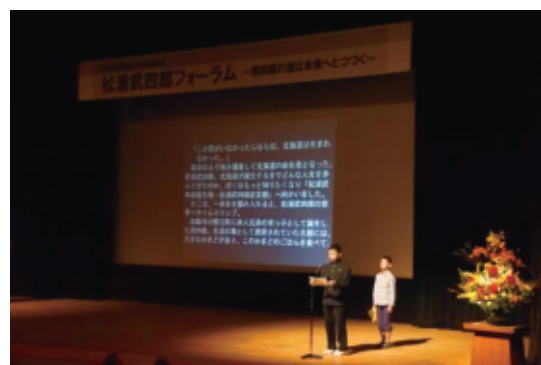


基調講演「未来から来た人」

武四郎の大ファンでもある明治学院大学教授で作家の高橋源一郎さんからは、実は武四郎は未来から来た人だったのではないか、という内容の話をしてもらった。南方熊楠を交えた魅力あるお話に多くの方が聞き入った。

子どもたちによる取り組み

松阪市内の全小中学生に募集した武四郎への手紙で、最優秀作品に選ばれた松阪市立朝見小学校六年生の岡田響さんと、松阪市立久保中学校二年生の刀根孝介さんに、手紙を朗読してもらった。



松阪市立鵜小学校6年生のみなさんと三重中学校（学校法人 三重高等学校）のみなさんには、武四郎に関する学習成果を発表してもらった。

なお、三重中学校のみなさんは、第9回ESD大賞（主催：NPO法人 日本持続発展教育推進フォーラム）において、ベスト・アクティビティ賞を受賞された。



三重県立松阪工業高校繊維デザイン科3年生の安部胡桃さん、奥山うららさん、中村洸太さんと指導した前村実先生に武四郎の紙芝居を紹介してもらった。

また、会場のロビーに紙芝居の原画を掲示した。

トークセッション

「知れば知るほど武四郎が識りたくなる」

毎日新聞オピニオングループ部長委員の岸 俊光さんのコーディネートで、武四郎の一疊敷の書斎を研究されたコロンビア大学名誉教授のヘンリー・スミスさんと、高橋源一郎さん、佐々木利和さんに松浦武四郎記念館の山本命主任学芸員を加え、武四郎の魅力について語り合った。

会場のみなさんには武四郎をより身近に感じてもらうことができた。



大首飾りレプリカのお披露目

松浦武四郎の肖像写真でおなじみの大首飾りの実物を所蔵している、東京都世田谷区にある静嘉堂文庫の特別協力によって作製した大首飾りのレプリカを、会場のロビーに展示して注目を集めた。

北海道胆振東部地震復興支援の募金呼びかけ

会場では平成30年（2018）9月に起きた北海道胆振東部地震の復興を支援する募金箱を設置し、たくさんの方から募金が寄せられた。



武四郎にちなんだ商品の販売

ロビーでは、生誕200年を記念して作られた武四郎にちなんださまざまな商品を販売してもらった。

小学生対象体験型講座「まちをあそぶ—武四郎さんをさがせ」

平成30年（2018）10月27日（土）・28日（日）

松阪市小野江町内 参加者59人

主催：松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会

松阪こどもNPOセンターへ委託し、風呂敷をかぶって忍者に扮した小学生が、グループに分かれて武四郎のふるさと小野江町を探索し、敵に見つからないように注意しながら、地域の人からヒントを得て、武四郎を探すイベントを開催した。

このイベントに先立ち、9月2日に松浦武四郎記念館で武四郎について事前学習も行った。



武四郎の足跡を訪ねる大台ヶ原バスハイク

平成30年（2018）10月29日（月）

奈良県上北山村（大台ヶ原） 参加者25人

主催：松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会

明治18年（1885）、68歳の武四郎は、妖怪が住む山と恐れられた大台ヶ原（三重と奈良の県境）を終焉の地と定め、70歳になる明治20年にかけて3度にわたり大台ヶ原に登り、地元の人びとの協力を得て、登山道を整備するなど、安心して登ることができるよう努めた。

そこで、武四郎に大台ヶ原を案内した岩本弥一郎の子孫である岩本泉治さんに詳しい説明をしてもらいながら武四郎が建てた石標などを見て、当時の武四郎に思いをはせた。



特別展「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎～見る、集める、伝える～」

平成30年（2018）12月15日（土）～ 平成31年（2019）2月11日（日）

北海道立帯広美術館（北海道帯広市）

主催：北海道博物館、三重県総合博物館、北海道立帯広美術館 協力：松阪市

十勝毎日新聞の創刊100周年記念事業としても開催された。会期中には三重県総合博物館の太田光俊学芸員や、武四郎研究の第一線で活躍されている北海道博物館の三浦泰之学芸主幹、歴史小説『がいなもん 松浦武四郎一代』の作者である河治和香さんの講演会も行われた。



北海道弟子屈町との相互交流による子どもたちの弟子屈町訪問

平成31年（2019）1月9日（水）～11日（金）

主催：松阪市教育委員会・弟子屈町教育委員会

弟子屈町内の小学校から10人（児童7人、引率3人）が小野江小学校を訪問し、交流した。

第24回武四郎まつり

平成31年（2019）2月24日（日） 10：00～15：30

松浦武四郎記念館・松浦武四郎誕生地 来場者6,000人

主催：武四郎まつり実行委員会 共催：松阪市



平成30年2月から1年をかけて行ってきた松浦武四郎生誕200年金事業の最後をしめくくるイベントとして、「第24回 武四郎まつり」が松浦武四郎記念館で開催され、6,000の方が来場した。ステージでは札幌大学でアイヌ文化を学び発信する活動を行うウレシパクラブのみなさんにアイヌ語による武四郎劇やアイヌ古式舞踊を披露してもらったほか、松浦武四郎誕生地では講談家の宝井琴梅さんによる武四郎の講談が行われた。また、記念館の館内では生誕200年記念事業を振り返るパネル展示も開催した。



生誕200年記念講座

記念事業では、さまざまな顔をもつ松浦武四郎の魅力を、より多くの方々に知ってもらうため、全11回にわたり松浦武四郎記念館と松浦武四郎誕生地で講座を開いた。



第1回 平成30年3月11日(日)
「四国遍路道中雑誌」を読む
佐藤 貞夫 さん
(サイト「松浦武四郎案内処」管理人)
参加者50名



第2回 平成30年4月8日(日)
松浦武四郎はまちがいなく
「松坂」人です
高瀬 英雄 さん
(松浦武四郎記念館 元館長)
参加者55名



第3回 平成30年5月13日(日)
松浦武四郎の生涯
山本 命
(松浦武四郎記念館 主任学芸員)
参加者66名



第4回 平成30年6月10日(日)
武四郎のふるさと小野江
草川 貴紀 さん
(歴史研究家)
参加者59名



第5回 平成30年7月8日(日)
大杉谷と武四郎
村田 稔 さん
(大台町大杉谷区長)
参加者47名



第6回 平成30年8月12日(日)
武四郎が生きた時代
山本 命
(松浦武四郎記念館 主任学芸員)
参加者67名



第7回 平成30年9月9日(日)
誕生地お座敷トーク①
歴史作家 河治 和香 さんと
映画監督 村川 透 さんの対談
参加者49名



第8回 平成30年11月11日(日)
誕生地お座敷トーク②
歴史作家 河治和香 さんと
札幌大学教授 本田 優子 さんの対談
参加者90名



第9回 平成30年12月9日(日)
誕生地お座敷トーク③
歴史作家 河治 和香 さんと
美術史家 安村 敏信 さんの対談
参加者68名



第10回 平成31年1月13日(日)
誕生地お座敷トーク④
歴史作家 河治 和香 さんと
収集家 其角堂・平野 英夫 さんの対談
参加者81名



第11回 平成31年2月10日(日)
近代初期の松浦武四郎
小玉 道明 さん
(元三重県史編さん専門委員)
参加者64名

情報発信・PR事業

松阪市役所 観光交流課の取り組み

- 平成29年 4月 松阪市公用封筒に武四郎生誕200年PRバージョンが登場
 6月 イオン北海道札幌でプロモーション（24～25日）
 9月 セントレア無料情報誌への広告掲載
 11月 松阪市の公用車100台にPRステッカーを貼付
 12月 セントレアでJAL連携プロモーション（9～10日）
- 平成30年 1月 松阪シティマラソンにてPR広告（29日）
 2月 東京銀座で三重県連携PR（10日）
 近鉄伊勢中川駅東口・西口に横断幕を掲出（22日～）
 津エアポートラインにてPR（23日）
 伊勢志摩観光コンベンション機構と連携し北海道旅行博出展（24～25日）
 3月 懸垂幕・のぼりを松阪市役所庁舎ほかに掲出（9日から）
 4月 イオンモール東員でプロモーション（15日）
 6月 イオンモール札幌発寒でプロモーション（23～24日）
 北海道博物館でPR（30日）
 7月 テッシ・オ・ペツにぎわい創出協議会記念式典に出展（28日）
 名寄市「テッシなよろ祭り」に出展（29日）
 8月 札幌テレビで三重県知事が武四郎をPR（6日）
 北海道テレビで三重県知事が武四郎をPR（12日）
 11月 伊勢志摩観光コンベンション機構と連携し北海道旅行博出展（2～4日）
 セントレアにてJAL連携プロモーション（17～18日）
 12月 セントレア道民割キャンペーンに協賛
 セントレア連携プロモーションで広告掲出（1日～1月7日）

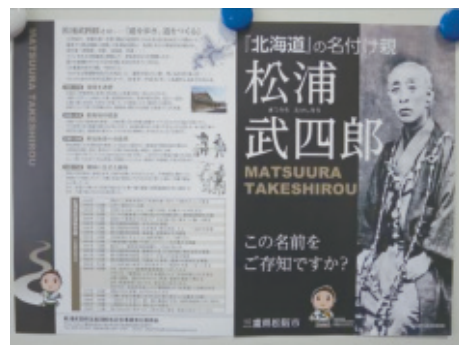


記念事業のPRポスター・チラシ

ポスター
B 2 版
2 種類



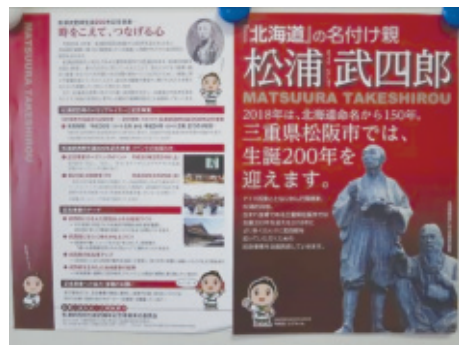
チラシ
A 4 版
両面①



チラシ
A 4 版
両面②



チラシ
A 4 版
両面③



ほか記念事業広報大使にタレントの川村ゆきえさんが就任するなど
(松阪市がタレントの川村ゆきえさん(北海道小樽市出身)を広報大使に任命(4/20-2/28))



広報大使の川村ゆきえさん



広報大使の川村ゆきえさん



丸井今井函館店でPR



松阪競輪で松浦武四郎生誕二百年記念競輪を開催

武四郎を紹介する本の出版

タイトル：幕末の探検家 松浦武四郎入門

企画：松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会

協力：松阪市

執筆：松浦武四郎記念館 主任学芸員 山本 命

発行日：平成30年(2018)3月1日

判型：A5判・144ページ

販売価格：1,080円(本体1,000円+税)

発行：月兎舎(三重県伊勢市)

販売：三重県内主要書店、松浦武四郎記念館、Amazon、全国の書店でも取り寄せ可能



松阪歴史探訪 生誕200年記念番組 松浦武四郎編

松阪市行政情報番組「アイウェーブまつさか」においても、松浦武四郎の番組を前編「松浦武四郎の生涯と功績」、後編「松浦武四郎が残したもの」を制作したほか、同番組に合わせて「武四郎は松阪市出身」、「平成30年は生誕200年」を紹介するCM2本も制作、平成30年(2018)1月から2月にかけて松阪市行政チャンネルで放送したほか、インターネット動画サイトYouTubeでも配信した。

前編の再現シーンは劇団松阪ドラマシティのみなさんに出演してもらったほか、後編では北海道アイヌ協会の加藤忠理事長、アイヌ民族博物館の野本館長、北海道博物館の三浦泰之学芸主幹にインタビューさせてもらった。



記念事業PR隊長に
たけちゃんが就任



広報まつさかへの記事掲載

平成30年12月号 記念事業告知

1月号 まさと君が行く

2月号 武四郎特集（6ページ）

新聞社による生誕200年特集記事

共同通信社 記事配信（全国の新聞社へ）

読売新聞社 年明けから5回連載および1年をかけて50回程度のコラム連載（三重版）

中日新聞社 正月特集で8ページ程度の武四郎特集

毎日新聞社 正月特集で5ページ程度の武四郎特集（北海道版）

その他の出来事

平成29年（2017）

- 5月18日 北海道経済連合会で武四郎について講演
- 7月1日 センチュリーロイヤルホテル（札幌）で「松浦さんフェア」開催（8月末まで）
- 7月13日 北海道市町村振興協会主催の北海道市町村長交流セミナーで武四郎について講演
- 7月17日 北海道みんなの日に合わせて松浦武四郎記念館の入館無料
札幌で松浦武四郎まつり、帯広でラン×スタinとかちが開催
- 7月17日 札幌市内23ホテルが松浦武四郎クイズウォークを開催（8月末まで）
- 7月18日 三重県知事と山口県知事が本居宣長記念館、松浦武四郎記念館を見学
- 7月28日 三重県小学校長教育研究大会で武四郎について講演、記念事業をPR
- 9月9日 みえミュージアムセミナーの先取りセミナーで記念事業をPR
- 9月28日 伊勢市で開催された全国測量協同組合交流会で武四郎について講演
- 10月4日 三重県立図書館入口ロビーに記念事業PRコーナーが設けられる（15日まで）
- 10月9日 みえミュージアムセミナーで武四郎について講演
- 10月12日 2017観光ホスピタリティ全道大会in旭川で武四郎について講演
- 10月29日 知里真志保を語る会（北海道登別市）のアイヌ文化講演会で武四郎について講演
- 11月20日 井村屋が創業70周年事業で松阪市長、三重県知事へ『自由訳 十勝日誌』を贈呈
- 12月1日 ホームページ（記念事業特設サイト）を開設 <https://takeshiro.net>

平成30年（2018）

- 6月8日 河治和香著『がいなもん 松浦武四郎一代』が小学館より出版
- 6月17日 松浦武四郎誕生地で「駒形どぜう」が出版記念に手打そばのふるまい
- 6月24日 創作オペレッタ「松浦武四郎ものがたり」が嬉野ふるさと会館で上演
- 6月25日 （株）おやつカンパニーからベビースター どでかいラーメン チキン味を提供
- 6月28日 NHK札幌放送局がドラマ「永遠のニシパ 松浦武四郎」の制作を発表
- 7月14日 北海道放送制作「北海道命名150年記念特番 松浦武四郎が夢見た北の大地」が放送、8月4日にBS-TBSにて全国放送
- 7月20日 北海道美深町が生誕200年を記念してチョウザメのはく製を松阪市に寄贈
- 8月5日 北海道150年記念式典が札幌で開催、松浦武四郎記念館から中継
- 10月21日 松阪市経営文化セミナー 三重テラス（東京・日本橋）
- 10月27日 札幌大学（北海道札幌市）ウレシパフェスタで武四郎について講演
- 11月1日 アイヌ刺繍作品展（主催：ラムピリカ）が松浦武四郎記念館企画展示室で開催
- 11月3日 三重県高校生スイーツコンテストに松浦武四郎記念館長賞が設けられる
- 11月29日 北海道滝上町から長屋栄一町長が松阪市を表敬訪問
- 12月8日 第9回ESD大賞において三重中学校がベスト・アクティビティ賞を受賞
- 12月20日 松阪市長の定例記者会見において「市長が選ぶ松阪市10大ニュース」の1位に「松浦武四郎生誕200年記念事業」が選ばれる。

記念事業までの動き

平成28年（2016）6月

- ・北海道知事「北海道150年記念事業のキーパーソンを松浦武四郎とする」（北海道150年道民検討会議）

平成28年（2016）8月

- ・三重県知事「松浦武四郎生誕200年、北海道命名150年に向け、松阪市、北海道と連携して記念事業に取り組んでいきたい」（松阪市長と知事の1対1対談）
- ・松阪市長が北海道を訪問。道知事や市長会、町村長会、北海道アイヌ協会などを訪ねたほか、天塩川流域11市町村の首長と会談。ドラマ化に向け協力を依頼。天塩川流域市町村で構成するテッシ・オ・ペツ賑わい創出協議会でもドラマ化への協力を約束。
- ・北海道150年事業準備室が松阪市・三重県を表敬訪問し、市・道・県が連携してドラマ化に取り組むことを確認。

平成28年（2016）11月

- ・三重県知事「県として武四郎生誕200年に向け情報発信、誘致活動などに積極的にかかわっていく」（松阪市から三重県への県政要望に対し）

平成29年（2017）1月

- ・北海道知事「松浦武四郎の知名度アップ大作戦、やりましょう」（北海道から知事および150年事業実行委員など計15名が松阪市長・三重県知事を表敬訪問）
- ・三重県知事「武四郎は日本を代表する偉人の一人。生誕200年記念事業にあわせ、道としっかり連携していく」、「北海道博物館で開催する武四郎展を巡回展とし県総合博物館で開催する」（道知事の記念事業への協力依頼と武四郎巡回展の三重での開催要請に対し）



平成29年（2017）2月

- ・北海道知事「北海道命名だけでなく武四郎選定のアイヌ語地名が道内にたくさんあり、恩人。北海道150年は道民が武四郎の行動と精神に学び、感謝する一年にしたい。交流、連携を深めていく」（第22回武四郎まつりへのメッセージ）
- ・三重県知事「平成30年は、武四郎生誕200年、北海道命名150年のメモリアルイヤー。武四郎の偉業を全国に発信する千載一遇のチャンス。松阪市や地域の人々と心をつなげて、また北海道とも連携して県の取組を積極的に進めていく」（同まつりへのメッセージ）
- ・三重県知事「武四郎は日本を代表する偉人の一人。県民に武四郎の功績を知ってもらうことは重要である。生誕200年に向け市、道ほか関係者としっかり話し合い記念事業に取り組むことで、武四郎の偉業を全国に向けて発信していきたい」（県議会平成29年2月定例会議で生誕200年、北海道150年の記念事業に対する県の取組に関する質問・要望に対し）

平成29年（2017）3月

- ・市、県、道でNHKドラマ制作の現場トップであるドラマ番組部長に面会しドラマ化を要望（市長、県観光局長、道150年事業準備室長などがNHKを訪問）
- ・北海道では、明治2年（1869）に武四郎が道名・国名・郡名案を上申した日である7月17日を、平成29年（2017）から「北海道みんなの日」とする条例を制定。

平成29年（2017）4月

- ・松阪市で「松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会」が発足。

武四郎への手紙

生誕200年を機に世代を超えて武四郎に関心を持ち、武四郎の生き方から多くのことを学んでもらうことを目的に、松浦武四郎への思いを綴った手紙を募集した。

テーマを「生誕から200年を迎えた武四郎さんへの思い」とし、原稿用紙800文字程度にまとめたものを、松阪市内の小学校5・6年生および中学校1～3年生（私立を含む）を対象に依頼し、手紙は、小学生139人、中学生195人から応募があり、その中から記念事業実行委員会において審査し、優秀作品として小学生7人、中学生6人の手紙を選んだ。

最も優秀な作品については、平成30年10月13日に開催した「松浦武四郎フォーラム」や、平成31年2月24日に開催した「第24回 武四郎まつり」で紹介するとともに、三重県総合博物館で開催された企画展「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎」でも掲示された。

小学生の部 最優秀作品 松阪市立朝見小学校 6年生 岡田 響さん

松浦武四郎が「北のアイヌの地」の意味を込めた北加伊道から字が改められた北海道。ぼくは去年の春休みに初めて北海道に旅行した。北海道大学や羊ヶ丘ではクラーク博士の銅像があった。クラーク博士のことはぼくも知っていた。でも北海道大学総合博物館や北海道庁旧本庁舎の中で松浦武四郎の名前を見つけてびっくりした。赤レンガの北海道庁旧本庁舎には26分割の北海道の地図が大きく展示してあった。飛行機でやって来たこんな遠い所で松阪の人に会うなんて。なんだかとてもうれしくなって、北海道と松阪が近くなったような気がした。

武四郎は9年をかけて本州・四国・九州を巡った。朝鮮半島をめざして対馬へも向かった。一日に80キロもの距離を歩いた健脚は「鉄の足」と呼ばれたそうだ。身長は1メートル48センチしかなかったのに。江戸末期蝦夷地を6度調査した。武四郎はアイヌの人たちと暮らしをともにし、その言葉を学んでアイヌの人たちに案内してもらいながら蝦夷地を調査した。そうしてアイヌの文化を分かろうと努力した。そして、自分が見て聞いたこと全てを本に出版し、蝦夷地の様子やそこに生きるアイヌの人たちの生活や考え方を伝えた。多くの人々がアイヌの人々の文化を知ること、そのすばらしさに気づいてほしいという武四郎のねがいだ。

人権の授業でも毎回出てくるけれど、人間はみんな違う。生まれた国、環境が違えば言語、文化、くらしなど全て違って来る。その「違い」を理解して尊重し合わないと、争いが起き、戦争にまで発展することがある。武四郎は互いの文化や考え方を学ぶことで尊重し合おうと教えてくれる。

ぼくも武四郎と同じく旅行が好きだ。沖縄ではゴーヤやソーキそば、マンゴー、パイナップルを食べた。北海道ではいくら丼、ジンギスカン、乳製品、スープカレーを食べた。旅行先でその土地のものを食べるのは一番の楽しみだ。武四郎がまだ見ぬ土地を歩きたいという情熱は晩年まで衰えず、70才になってからも富士山に登った。

武四郎さん、今生きていたら「鉄の足」でどこへ行きますか？まだ行ったことのない沖縄？スカイツリーから東京の町を見ますか？エジプトへピラミッドを見に行きますか？ぼくも自分の足で日本中、世界中を旅してみたい。

中学生の部 最優秀作品 松阪市立久保中学校 2年生 刀根 孝介さん

「この男がいなかったらならば、北海道は生まれなかった。」

幕末のえぞ地を調査して北海道の命名者となった、松浦武四郎。北海道が誕生するまでどんな人生を歩んできたのか、ぼくはもっと知りたくなり「松浦武四郎誕生地・松浦武四郎記念館」へ向かいました。

そこは、一歩足を踏み入ると、松浦武四郎の世界へタイムスリップ。

松阪市小野江町に四人兄弟の末っ子として誕生した武四郎。生活の場として使用されていた主屋には、大きなかまどがあり、このかまどのごはんを食べて、思考も行動も規格外のスケールで人生まるごと旅のような武四郎という探検家が生まれたのだと想像すると、ぼくの頭の中に幼い武四郎や家族の映像が浮かび、ますます心が引きつけられました。

探検家・浮世絵師・著述家・好古家等、多彩な顔を持つ武四郎。とりわけ北海道への愛着を強く感じられるのは六度に渡るえぞ地の探査で、アイヌの人々と寝食を共にしたことが大きく影響していると、繊細に描かれた絵や事細かに紹介された文章からも伝わり、熱いものを感じました。

70歳で富士山登頂。1888年71歳で亡くなるまで、旅への情熱は衰えることはなかったのだと驚きと感動を覚えました。

『生誕200年を迎えた松浦武四郎さんへ』

あなたが名付けた北海道は150年を迎えました。初めて提案した漢字は「北加伊道」。「カイ」は、アイヌの古い言葉で「この地に生まれた人」という意味を持つのだと知り、武四郎さんが愛したアイヌの人達への思いが込められているのだと胸が熱くなりました。

今、武四郎さんがいたなら、どんな事に興味を持ちますか？そして何に挑戦しますか？

ぼくは、武四郎さんのように、年を重ねても前向きに挑戦し続ける人生を歩んでいきたいと強く心に思っています。



小学生の部 最優秀作品に選ばれた
岡田 響さん

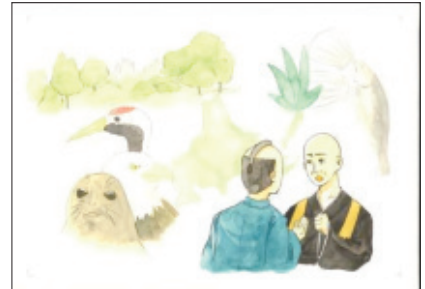


中学生の部 最優秀作品に選ばれた
刀根 孝介さん

武四郎の紙芝居

紙芝居は、三重県立松阪工業高等学校 繊維デザイン科の三年生である安部胡桃さん、奥山うららさん、中村洸太さんが、前村実先生の指導により絵を描き、文章は記念事業実行委員会の松本吉弘委員が加筆訂正して完成した。紙芝居は16枚1組で武四郎の生涯を表しており、幼稚園や保育園、小学校低学年の子どもたちへのお話の中で活用している。

助成：公益財団法人 原田積善会



週刊武四郎

武四郎の生誕200年を記念して、小学館から出版された『がいなもん 松浦武四郎一代』の著者である歴史作家の河治和香さん執筆による「週刊武四郎」を毎週水曜日に発刊し、平成30年4月から平成31年3月まで全51回の連載を、松阪市の広報まつさかや松阪市ホームページに掲載したほか、記念館でも配布し、冒険家、探検家、古物収集家など、さまざまな顔を持つ松浦武四郎の知られざるエピソードを紹介した。

執筆：河治和香さん（歴史小説家）／挿画 りんたろうさん（アニメーション監督）

- 第1回 武四郎と龍馬と開拓と
- 第2回 竹川竹斎という偉人
- 第3回 古銭趣味
- 第4回 「唐、天竺まで……」
- 第5回 百印百詩
- 第6回 モースに勾玉を見せびらかす
- 第7回 はじまりは…鈴？
- 第8回 耳がヘンだ！
- 第9回 イヤミ老人！
- 第10回 年俸六千両
- 第11回 松浦老人係
- 第12回 北海道人樹下午睡図
- 第13回 いまわの際の言葉
- 第14回 カイの国
- 第15回 荷風と武四郎
- 第16回 洪団扇コレクション
- 第17回 ヘンテコな髷の小さな男
- 第18回 リアル探検スタイル
- 第19回 謎の妻
- 第20回 義理の兄・三浦乾也
- 第21回 今に残る武四郎関連の江戸の老舗
- 第22回 家内が僕をいじめます
- 第23回 蝦夷地探検の荷造りメモ
- 第24回 周囲の人々…自伝から
- 第25回 スジコ、くれっ！
- 第26回 伊勢の人、武四郎

- 第27回 クマと武四郎
- 第28回 川喜田石水と半泥子
- 第29回 一畳敷の数奇な運命
- 第30回 唐人お吉と武四郎の関係
- 第31回 情報屋武四郎
- 第32回 かわいそうなニシパ
- 第33回 風月堂との関係
- 第34回 アイヌ玉の謎
- 第35回 新選組と武四郎
- 第36回 秘めおくべし
- 第37回 ヘマムショ入道
- 第38回 コレクションカタログ
- 第39回 鉄の脚を持つ男
- 第40回 サッ・ポロ・ペツ
- 第41回 幕末の志士武四郎
- 第42回 前頭二十九枚目
- 第43回 武四郎読書ガイド
- 第44回 御札を書きまくる
- 第45回 市助少年
- 第46回 始めも果ても知れぬ我身
- 第47回 コレクター気質
- 第48回 終活の達人
- 第49回 探検の心構え
- 第50回 松浦武四郎伝を最初に書いた人は…
- 第51回 最後に…



第1号



第25号



第51号

松浦武四郎記念館における展示

▲松浦武四郎記念館では、約2ヶ月に1度展示替えを行い、さまざまなテーマで武四郎の姿を紹介した。



武四郎を生んだ松浦家 平成30年2月14日～4月22日 8,448人
松浦家から寄贈された資料の中でこれまで一度も展示したことのない資料に光を当てた。

武四郎と旅 平成30年4月24日～6月24日 2,426人
武四郎は旅を志し、生涯を旅に生きた人物であったことに着目し、彼の旅が、「歩く」、「見る」、「知る」、「記す」、「伝える」ものであったことを、遺された資料から紹介した。

描かれたアイヌ民族 平成30年6月26日～8月26日 2,434人
写真が多くはなかった江戸時代の日本列島において、アイヌ民族の姿は絵で伝えられており、絵師たちによって描かれたアイヌ民族の姿と武四郎の絵の違いを紹介した。

武四郎の古銭収集 平成30年8月28日～11月4日 2,763人
武四郎は、日本の古銭収集家の番付表に名前が載るほど、古銭コレクターとしても活躍した。武四郎が集めた古銭は、大蔵省や宮内省などへ寄贈された一方、松浦家で大切に保管されてきたものを、生誕200年を記念して初めて公開した。

錦絵の世界 平成30年11月6日～平成31年1月14日 2,099人
武四郎の実家である三雲松浦家には数多くの錦絵が残されており、明治時代に制作された錦絵から、当時の政治や文化などを紹介した。

武四郎の謎 平成31年1月16日～3月17日 7,326人
武四郎には様々な謎があり、そうした謎を遺された資料から紹介した。

武四郎の詩歌 平成31年3月19日～6月16日 1,988人
武四郎は数多くの和歌を詠んだ歌人でもあり、武四郎が詠んだ和歌を紹介した。

夏休みの無料開館

7/21～9/2 夏休みの小中高生と保護者の記念館・誕生地入館無料 719人（親341人＋子378人）

松浦武四郎関係資料の写真貸し出し

記念事業への協賛 記念事業へのご寄附（敬称略、受付順）

株式会社 日乃出エヤコン 株式会社 サイネックス 一般社団法人 日本公共情報出版協会

記念事業への助成金（敬称略）

公益財団法人 原田積善会（対象：武四郎の紙芝居制作）

記念事業への協賛募集

松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会及び松阪市では、平成30年に松浦武四郎が生誕から200年を迎えることを機に「松浦武四郎生誕200年」とふるさと「松阪」を広くPRし、全国から松阪市へ多くの方にお越しいただき、文化・人的交流、地域の活性化を図るとともに、松浦武四郎のさらなる顕彰へとつなげていきたいと考えた。

そこで、事業所、商店、市民活動団体等、みなさんの活動の中で『松浦武四郎生誕200年記念事業』にご協力いただき、周知の輪を拡げてもらえるよう、要綱を定め、以下の通り記念事業への協賛を募集した。

①イベントや事業への協賛名義などの使用

さまざまなイベントや事業において、チラシ・ポスター・名刺・社内報・機関紙・情報誌などの印刷物やホームページなどへ「松浦武四郎生誕200年記念」「協賛 松浦武四郎生誕200年記念事業」「松浦武四郎生誕200年記念事業を応援します！」などを入れてもらい、記念事業のPRに協力してもらった。

②キャラクターデザインの使用

みなさんによる記念事業のPRに関して、松浦武四郎生誕200年記念事業PR隊長「たけちゃん」のイラストを無料で使用してもらった。



③ステッカーの購入による協賛

記念事業への協賛募集としてステッカー（1枚1000円）を販売し、計733枚を購入してもらった。なお、ステッカーは自宅や店舗・事務所、自家用車や社用車などに貼り付け、PRに協力してもらった。



協賛者一覧(敬称略、受付順)

1	竹内 明美	松阪市文化財センターでアイヌ工芸作品展の開催
2	有限会社 モンマルトル小泉	武四郎バームの販売
3	株式会社 新竹商店	武四郎牛肉弁当の販売
4	アンバー	武四郎にちなんだカクテルの提供
5	トラットリア イルテルノ	武四郎にちなんだメニューの提供
6	株式会社 プラトンホテル	武四郎PRコーナーの設置
7	まつぶた	武四郎コロケの販売
8	株式会社 風味堂	武四郎カップあられの販売
9	株式会社 佛英堂	武四郎にちなんだお香「蝦夷山桜」の販売
10	武ちゃんファンクラブ	記念事業のPR協力
11	株式会社 第三銀行	たけちゃん定期預金や記念事業のPR協力
12	三重信用金庫	記念事業のPR協力
13	株式会社 柳屋奉善	記念事業への商品提供
14	株式会社 ミツイバウマテリアル	記念事業のPR協力
15	有限会社 山藤	記念事業のPR協力
16	JA松阪	記念事業のPR協力
17	株式会社 坂田墨珠堂	記念事業のPR協力

18	嬉野コールジョイ	創作オペレッタ「松浦武四郎ものがたり」の開催
19	YOURS むとう	武四郎のみそ汁の具の販売
20	大王運輸株式会社	記念事業のPR協力
21	猿田彦神社	記念事業のPR協力
22	松阪市勤労者サービスセンター	わらび座ミュージカルの告知・チケット販売
23	合同会社 友歩	記念事業のPR協力
24	日本料理 ほとり	記念事業のPR協力
25	株式会社 サイネックス	書籍『全国を踏破した超人 松浦武四郎』の出版
26	松阪北部物産振興会	記念事業のPR協力
27	深山峠観光開発振興会	北海道上富良野町の農作物販売資料で武四郎のPR
28	北海道大学アイヌ・先住民研究センター	日本シベリア学会で武四郎の講演を行う
29	松阪北部商工会	記念事業のPR協力
30	株式会社 中広 ふぁみんぐ編集室	情報誌『ふぁみんぐくらぶ』で特集や紹介など
31	三重県神輿愛好者有志一同	武四郎生誕200年、北海道150年を奉祝
32	井村屋株式会社 東海支店 三重営業所	松浦武四郎生誕200年招福羊羹の提供・販売
33	F&I総合プランニング株式会社	Webサイト「リーベンプレミアム北海道」・「リーベンプレミアム三重」で記念事業をPR
34	株式会社 おやつカンパニー	ベビースターラーメン武四郎パッケージ200食の提供
35	三重高等学校吹奏楽部	演奏会で福島弘和作曲アイヌ民謡「イヨマンテ」の主題による変奏曲を演奏し記念事業をPR
36	株式会社 NTN 三雲製作所	社内報で記念事業をPR
37	吟道関心流 三重県本部	企画構成吟剣詩舞で武四郎の功績や交流を取り上げる
38	三重県経営者協会	会報誌「みえ経協vol.53」の表紙で記念事業をPR
39	北海道 根室振興局	武四郎のパネル展を根室管内1市4町と共同で開催
40	平井 正志	水彩画展「武四郎の見た北海道の花と自然」の開催
41	松阪子どもNPOセンター	小学生対象体験型講座の実施
42	株式会社 松阪協働ファーム	記念事業のPR協力
43	モンマルトル亀屋	武四郎にちなんだ和菓子の販売
44	光れ街道夢おこしの会	松浦武四郎誕生地で月見の会を開催
45	松阪市商店街連合会	記念事業のPR協力
46	向野園	たけちゃんのクッキーを販売
47	千歳市立図書館	武四郎が歩いた幕末の千歳を紹介
48	中南勢クレーン協会	記念事業のPR協力
49	一般社団法人 敬心会 デイサービスもりの輪	記念事業のPR協力
50	“雲”写真展覧会	個展での記念事業のPR協力
51	三重県 雇用経済部 三重県営業本部 担当課	東京の三重テラスで武四郎をPR
52	ミズネットワーク松阪	記念事業のPRを各会員店舗で実施
53	三重県自然環境保全センター	三重県総合博物館ミュージアムショップでPR
54	株式会社 津 松菱	大北海道物産展で記念事業をPR
55	アイヌ勉強会 ラムピリカ	松浦武四郎記念館でアイヌ刺繍作品展の開催
56	松阪市社会福祉協議会 三雲支所	三雲文化祭作品展示で記念事業をPR
57	松阪市立小野江小学校	航空写真でキャラクター「たけちゃん」を使用
58	セブンイレブン 松阪垣鼻町店	店内のPOPにキャラクター「たけちゃん」を使用

さまざまな武四郎にちなんだ商品が誕生

寿総合食品 肉じゃが・シチュー「ピリカル」
 YOURSむとう みそ汁の具
 野瀬商店 枝豆マドレーヌ
 向野園 たけちゃんクッキー

松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会

実行委員会では武四郎の魅力をできるだけ多くの方々に知ってもらうために、会議を開いて意見を出し合い、さまざまな企画を検討した。

委員長 小林 壽一（元 松阪市教育委員会 教育長）

副委員長 中村 文恵（格子戸の会 代表）

実行委員 高瀬 英雄（元 松浦武四郎記念館 館長）
 庄司 佳伸（伊勢の國・松坂十楽 事務局）
 門 暉代司（元 本居宣長記念館 館長）
 飯田 秀 （松浦武四郎記念館友の会 会長）
 宇野 文男（元 福井大学 教授）



竹川 裕久（松阪市観光協会 専務理事）
 駒田 健吾（松浦武四郎誕生地保存会 会長）※平成30年3月まで
 中島 克彦（松浦武四郎誕生地保存会 会長）※平成30年4月から
 山中 和儀（おのえ住民協議会 会長）
 齋藤 猛夫（おのえ住民協議会 地域計画実行委員会 委員長）
 北山 勝彦（松阪北部商工会 事務局長）※平成30年3月まで
 長崎 剛正（松阪北部商工会 事務局長）※平成30年4月から
 川口 正人（松阪商工会議所 事務局長）
 大和 修 （松阪香肌商工会 事務局長）※平成30年3月まで
 松本 浩二（松阪香肌商工会 事務局長）※平成30年4月から
 松本 吉弘（元 松阪市立第一小学校 校長）
 金子 若奈（三重大学医学部1年生）
 齋藤 弘実（三重大学生物資源学部1年生）
 久保 宏明（第23回・第24回 武四郎まつり実行委員会 委員長）

顧問 三好 孝 （松浦武四郎生誕190年等記念事業実行委員会 委員長）
 佐藤 貞夫（松浦武四郎研究家）

事務局 松阪市役所産業文化部文化課

課長

榊原 典子（事務局長）

文化財係長 兼 生誕200年記念事業担当

新田 和弘

文化財係 主任 兼 生誕200年記念事業担当

高山 剛将

文化振興係 主任 兼 生誕200年記念事業担当

石田 賢太郎

松阪市役所産業文化部観光交流課

文化・観光交流連携担当参事 兼 課長

近田 弘之

都市間交流担当主幹 兼 係長 兼 生誕200年記念事業担当

中井 和史

都市間交流係 兼 生誕200年記念事業担当

大西 香代子

松浦武四郎記念館

館 長

中野 恭

主任学芸員

山本 命

非常勤職員（事務担当）

田島 映子

非常勤職員（学芸業務）

世古 詩央里

あしがき 30年を振り返って

開館20年の際に記念誌を作成してから10年が経過し、その間に社会は大きく変化しました。

携帯電話に代わってスマートフォンが主流となり、新型コロナウイルス感染症の流行により、インターネットを利用して様々なことが出来るようになりました。生成AIも使われるようになり便利になった反面、10年前には考えられなかった問題も起きています。

松浦武四郎記念館では武四郎生誕200年を迎え、松阪市小野江公民館が分離し、リニューアルをしました。新しい職員も迎え、改正された博物館法における博物館登録制度では三重県第1号になるなど、一歩ずつ前進しています。

今年度の夏に開催した開館30年記念トークイベントの際に、高瀬英雄元館長からいただいた開館30年に寄せてのメッセージ「無から有を 不可能を可能する挑戦の日々 チャンスを」(56頁の写真参照)を忘れることなく、次の10年に向けて職員一同頑張っていきたいと思います。

開館30年記念誌 松浦武四郎記念館30年の歩み

発行日 令和7年(2025)1月17日

編集・発行 松浦武四郎記念館
〒515-2109 三重県松阪市小野江町383番地
TEL: 0598-56-6847

印刷 ナカバヤシアピールサポート株式会社
〒515-0044 三重県松阪市久保町990番地

アイヌの人々の移住

アイヌの人々の移住は、主に北海道から東北地方へ行われた。この移住は、アイヌの人々の生活様式や文化を伝える重要な資料となっている。

海運に込めた思い

海運は、アイヌの人々の生活にとって重要な役割を果たしている。彼らは、海を渡り、魚や貝類を捕獲し、それを食料や交易品として利用していた。

新島元帥の足跡

新島元帥は、アイヌの人々との交流に尽力した。彼の足跡は、アイヌの人々の生活や文化を知るための重要な手がかりとなっている。

アイヌとは

アイヌとは、北海道に暮らす先住民である。彼らは、独自の文化と生活様式を持っており、その歴史は古くからある。

武蔵郡とアイヌの人々

武蔵郡には、アイヌの人々の生活の痕跡が残っている。彼らの生活様式や文化を知るための重要な資料となっている。

江戸時代の蝦夷地

江戸時代には、蝦夷地が重要な地域となっていた。アイヌの人々の生活や文化を知るための重要な資料となっている。

蝦夷地調査の足跡



蝦夷地調査の足跡は、アイヌの人々の生活や文化を知るための重要な手がかりとなっている。

この調査は、アイヌの人々の生活や文化を知るための重要な手がかりとなっている。

個人としての調査

個人としての調査は、アイヌの人々の生活や文化を知るための重要な手がかりとなっている。

第1回

第1回は、アイヌの人々の生活や文化を知るための重要な手がかりとなっている。

第2回

第2回は、アイヌの人々の生活や文化を知るための重要な手がかりとなっている。

第3回

第3回は、アイヌの人々の生活や文化を知るための重要な手がかりとなっている。

幕府役人としての調査

幕府役人としての調査は、アイヌの人々の生活や文化を知るための重要な手がかりとなっている。

第4回

第4回は、アイヌの人々の生活や文化を知るための重要な手がかりとなっている。

第5回

第5回は、アイヌの人々の生活や文化を知るための重要な手がかりとなっている。